



取扱説明書

多回線音声応答装置

サービスホン

TS-400

もくじ

安全にお使いいただくために	2	送出チャンネルを切り替える	44
はじめに	4	着信回数を確認する	45
商品概要	6	応答にセットする	46
各部の名前とはたらき	8	1. 応答モードの切替	46
動作モードを設定する	10	2. 応答のセットと解除	47
		3. 外部から応答のセットと解除	48
		4. 応答セット中の操作	49
操作メニュー画面にする	11	リモコン操作をする	51
初期登録をする	12	1. リモコン操作の前に	51
1. 初期登録の内容一覧	12	2. メッセージの録音と再生	52
2. 年月日・時刻を合わせる	13	3. 応答のセットと解除	52
3. 回線種別を登録する	15	4. タイマーのセットと解除	53
4. 送出チャンネルを登録する	17	5. メッセージの切り替え	53
5. 送出方式を登録する	18	データを印刷する	54
6. 送出回数を登録する	19	1. 着信データの手動印刷	54
7. 着信ベル回数を登録する	20	2. 着信データの自動印刷	56
8. 回線保留時間を登録する	21	3. タイマーデータの印刷	58
9. リモコン暗証番号を登録する	22	4. 初期登録の印刷	60
10. セキュリティ機能を登録する	23	設置工事	62
11. 相手切断検出を登録する	24	1. 後面端子部の名前とはたらき	62
12. データ集計時刻を登録する	25	2. 各機器との接続のしかた	63
13. プリンタ機能を登録する	26	3. 増設のしかた	65
メッセージを録音する	28	故障とお考えになる前に	67
1. 録音の前に	28	主な仕様	68
2. 基本モードの録音と再生	30	「TS-400 シリーズ」登録表	69
3. 選択モードの録音と再生	32	保証とアフターサービス	裏表紙
4. 外部音源モードの録音と再生	34		
プログラムタイマーを登録する	35		
1. プログラムタイマーについて	35		
2. 1日パターンの登録	36		
3. 週間プログラムの登録	38		
4. 変則プログラムの登録	39		
5. 祝日プログラムの登録	40		
6. 休日プログラムの登録	42		
7. 臨時プログラムの登録	43		

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本装置を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

 警告	 ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。感電や故障の原因となります。
 	電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
	電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。
	AC 100 V商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。火災や感電・故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。落雷による感電の原因となります。
	本装置の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるなど異常がなくなることを確認した上で、販売店に点検を依頼してください。異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	本装置のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。火災や感電の原因となります。改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。
	床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

 警告	 アース線は、絶対にガス管にはつながないでください。 火災や感電の原因となります。
	 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災や感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

 注意	 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
	 本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。 本装置のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。
	 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	 直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。 内部の温度が上がり、火災の原因となります。
	 湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。 火災や感電の原因となります。
	 ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください

 お願い	 ペンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。 変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってからふいて、そのあと、乾いたやわらかい布でふきとってください。
	 落したり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因となります。
	 テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、違法無線を受けるところには置かないでください。 誤動作の原因となります。
	 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。 正常に動作しないことがあります。
	 温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置の寿命が短くなるおそれがあります。

はじめに

この度は、「サービスホン TS-400」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

■セットの確認

次のものがそろっていることをお確かめください。
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。当社営業所につきましては、当社ホームページ（<http://www.takacom.co.jp>）の「営業拠点」をご覧ください。

品 名	個数	単位	備 考
1 本体	1	台	
2 電源コード	1	本	
3 外部音源接続コード	1	本	
4 マイク	1	本	
5 モジュラーコード	6	本	両端モジュラー
6 取扱説明書	1	式	本書

※製品に同梱された電源コードセットは、他の製品に使用しないでください。

ご使用にあたってのお願い

- 取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。
- この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A
- 本装置の仕様は、国内向けになっていますので、海外ではご利用できません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

■本装置をご利用になる前に

本装置によりテレホンサービスを行うには、次のことについて運用計画を立ててください。

1. 動作モードを決めます。

本装置には、次の3つの動作モードがあります。かかってきた電話にどの動作モードで応答させるか決めます。(同時に複数の動作モードでの応答はできません。)

- ①基本モード
- ②選択モード
- ③外部音源モード

設定のしかたは、「動作モードを設定する《→P.10》」をご覧ください。

2. 収容回線を確認します。

(1) 回線収容数

回線は、6回線単位で、最大30回線まで収容できます。

(2) 回線種別

下記の回線種別に対応しています。

- ①アナログ一般公衆回線
- ②テレドーム回線
(テレドーム：0180ではじまるNTTの電話情報サービス)
- ③トーキー音源回線



ワンポイント

- ※ 共同電話、公衆電話、地域集団電話には、ご使用できません。
- ※ テレドーム回線・トーキー音源回線は、NTTと回線契約（有料）が必要です。くわしくは、NTT窓口へお問い合わせください。
- ※ ナンバーディスプレイの契約をしているアナログ一般公衆回線にも接続することができます。

3. 応答条件を登録します。

「初期登録をする《→P.12》」に従って、年月日・時刻や回線種別など本装置で応答させるための、条件を登録します。

4. メッセージを録音します。

「メッセージを録音する《→P.28》」に従って、メッセージを録音します。

5. プログラムタイマーで応答させるには

「プログラムタイマーを登録する《→P.35》」に従って、応答のON/OFF時刻やメッセージchを登録します。

6. 着信データを集計するには

着信データを印刷することができます。データを集計するには、プリンタをご用意ください。

■電源について

- 電源は、AC100V 商用電源でご使用ください。
- 本装置には、電源スイッチはありません。
電源を切るときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

電源を入れると・・・

最初に電源を入れると、ディスプレイは、次のように動作モード設定画面が表示されます。

先ず最初に、「動作モードを設定する《→P.10》」に従って、動作モードを設定してください。

動作モードを設定したあとは、それぞれの操作メニュー画面が表示されます。

* TS-400 動作モード設定 *

1. 基本モード
2. 選択モード
3. 外部音源モード

ボタン操作は

本装置は、約2分間、何もボタン操作をしないと、自動的にその操作を解除します。

このときは、最初から操作をやり直してください。



お願い

● アナログ一般公衆回線（ナンバーディスプレイ契約）に接続するとき：

本装置には、先方の電話番号を表示する機能はありません。ナンバーディスプレイ機能付きの電話機などとともにお使いください。

● トーキー音源回線に接続するとき：

アフターサービスの場合をのぞいて本装置からの音声止めないようにしてください。プログラムタイマーや前面の[応答]ボタンの操作で、本装置が応答できない状態を作らないようにご注意ください。
音声が終わるとNTTの設備が警報状態になります。

● 選択モードで運用するとき：

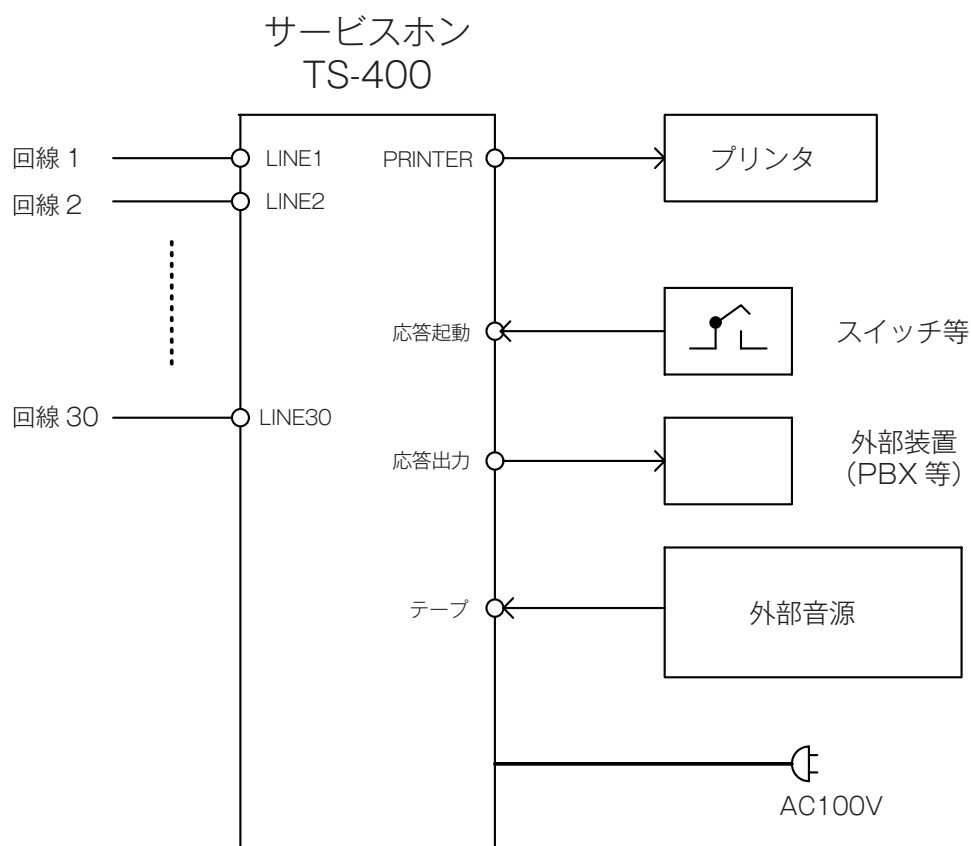
テレドーム回線、トーキー音源回線は接続できません。
アナログ一般回線を接続して運用してください。

商品概要

本装置は、1 回線から最大 30 回線まで、6 回線単位で電話回線に接続でき、着信があると自動的に応答し、あらかじめ録音したメッセージを聞かせることができる自動応答装置です。

会社などの業務時間外の案内や、官公庁等の各種テレホンサービス情報提供などにご利用になれます。

システム構成



回線 1 ～ 30：

- ・ 6 回線単位で、最大 30 回線まで接続できます。
- ・ アナログ一般公衆回線、テレドーム回線、トーカー音源回線が接続できます。

応答起動：

- ・ 本体以外の外部から応答にセットおよび解除をすることができます。

応答出力：

- ・ 応答にセットされると、無電圧メーク接点で出力されます。
- ・ 交換機などへ接続して応答セット中は夜間切替にしたり、また、ランプなどを接続して応答セット中であることを表示することができます。

外部音源：

- ・ 本装置内の録音メッセージ以外に、実況放送などを外部音源として回線へ送出することができます。（テープジャックより入力）

プリンタ：

- ・ プリンタ（市販品）を接続すると、着信回数や登録内容を印刷することができます。

■機能概要

●動作モード

基本モード、選択モード、外部音源モードの3つの動作モードがあり、その内の1つを選んで、応答させます。(同時に2つ以上のモードで応答することはできません。)

○基本モード

- ・ベル着信があると、あらかじめ録音してあるメッセージを冒頭より送出します。
メッセージは、前chと後chの2つのメッセージがあり、前chと後chを連結して繰り返して送出したり、また、前chまたは後chのみを繰り返して送出することができます。(例えば、会社の業務案内でお使いのとき、前chへ業務案内を、後chに「お電話ありがとうございました」などとして、前chのみ繰り返し、案内の最後には、後chを1回送出することができます。)
- ・回線を、最大5グループに分けて、それぞれ違ったメッセージで応答させることができます。(例えば、会社で部署別にグループに分けて、それぞれ違ったメッセージで応答させることができます。)

○選択モード

- ・ベル着信があると、案内メッセージを送出したあと、かけてきた人がダイヤルして聞きたい情報メッセージを選択することができます。案内の最後には、終了メッセージを送出します。
- ・情報メッセージは、最大30chあります。
- ・テレドーム回線、トーキー音源回線は接続できません。アナログ一般回線を接続して運用してください。

○外部音源モード

- ・ベル着信があると、案内メッセージを送出したあと、本装置へ入力してある外部音源のメッセージ（実況放送や有線放送など）を送出します。

●タイマー動作ができます。

- ・プログラムタイマーを登録すると、年間を通じて、メッセージチャンネルの自動切替や、応答動作のセット／停止が自動的に行えます。
- ・基本モードでお使いのときは、グループごとにタイマー登録ができるので、部署ごとに適した応答ができます。

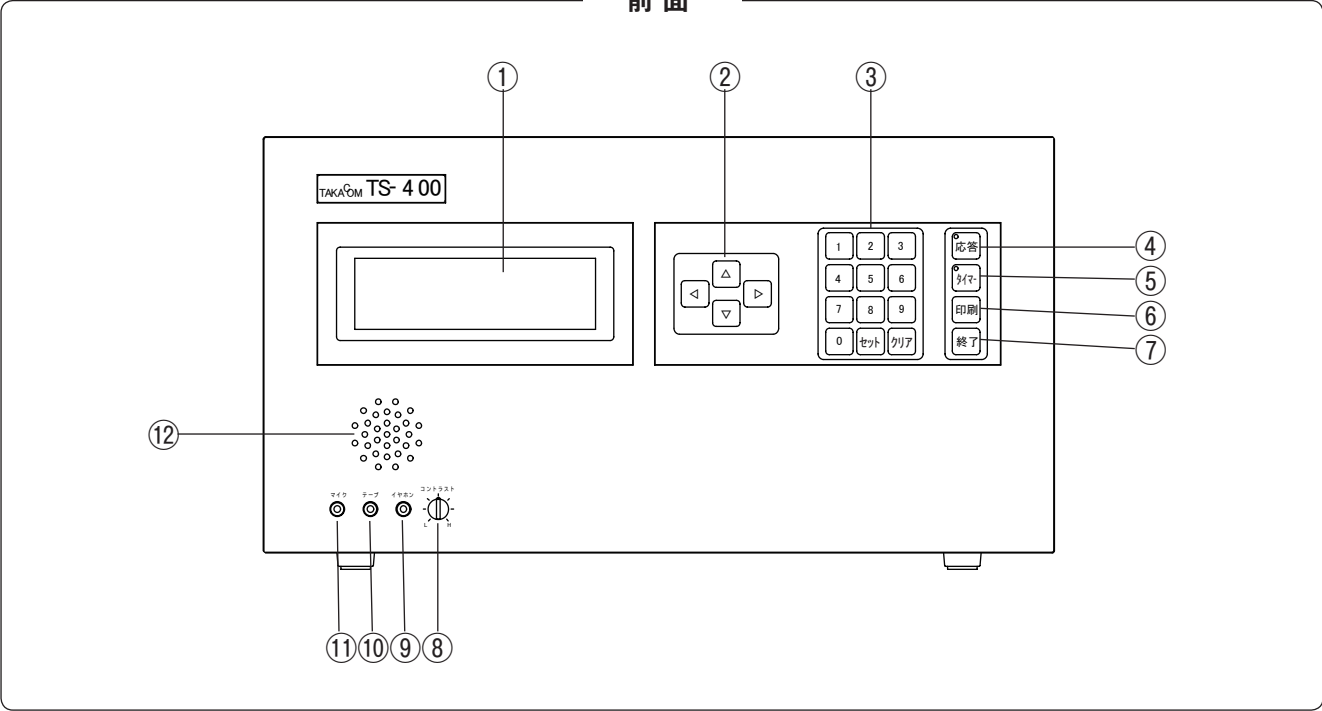
●リモコン操作ができます。

電話回線から、リモコン操作で次のことができます。ただし、テレドーム回線、トーキー音源回線では、ご利用になれません。

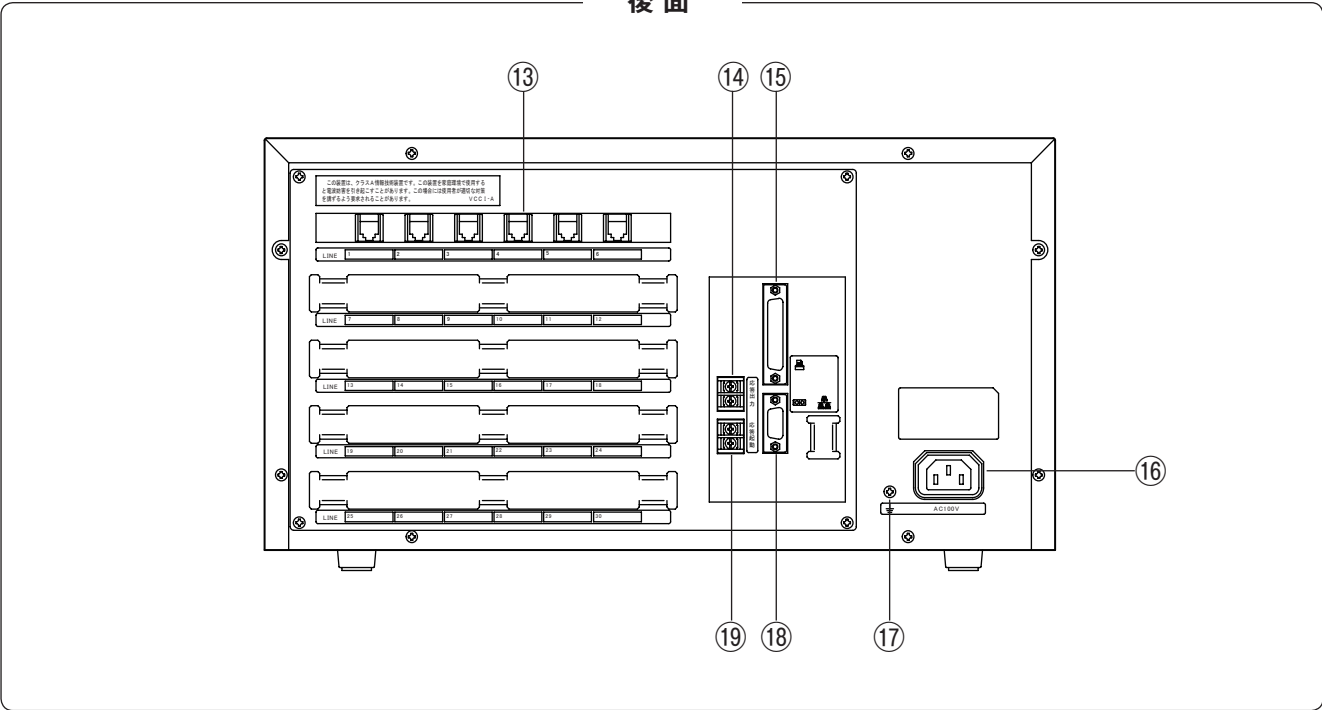
- ・メッセージの録音／再生（外部音源モードはできません。)
- ・応答セットと解除
- ・タイマーセットと解除
- ・メッセージチャンネルの切り替え（基本モードのみできます。)

各部の名前とはたらき

前面



後面



名前		機能（はたらき）
1	ディスプレイ	システムの動作状態を表示します。バックライト付で、ボタンを操作するとバックライトが点灯し、約3分間、何もボタン操作をしないと消灯します。
2	矢印ボタン	項目などを選択するとき押します。 △ボタンを、一回押すごとに、一段上へ移動して、項目などを選択します。 ▽ボタンを、一回押すごとに、一段下へ移動して、項目などを選択します。 ▷ボタンを、一回押すごとに、右側へ移動して、項目などを選択します。 ◁ボタンを、一回押すごとに、左側へ移動して、項目などを選択します。
3	10KEY ボタン（1～9、0）	時刻登録など数値を入力するとき押します。
	セットボタン	選択した項目や数値入力を確定するとき押します。
	クリアボタン	入力した数値などをクリアするとき押します。
4	応答ボタン／ランプ	着信応答のセットおよび解除するとき押します。 応答ランプは、応答セットの状態を表示します。
5	タイマーボタン／ランプ	タイマーのセットまたは解除するとき押します。 タイマーランプは、タイマーセットの状態を表示します。
6	印刷ボタン	着信データおよび登録データを、臨時で印刷するとき押します。
7	終了ボタン	録音・再生や登録を終了するとき押します。
8	コントラスト調整ボリューム	ディスプレイのコントラストを調節します。右へ回すと濃く、左へ回すと薄くなります。
9	イヤホンジャック	再生音などを、イヤホンで聞くと、イヤホンを接続するジャックです。
10	テープジャック	テープレコーダから録音するとき、また、外部音源モードで使用する時、外部音源を接続するジャックです。
11	マイクジャック	マイクから録音するとき、マイクを接続するジャックです。
12	スピーカ	メッセージ再生を拡声します。
13	モジュージャック	回線を接続するモジュージャックです。
14	応答出力端子	応答にセットされると、メーク信号（無電圧）が出力されます。
15	プリンタ接続コネクタ	プリンタへ接続します。
16	AC 電源コネクタ	電源ケーブルを接続し、AC 電源を供給するためのコネクタです。
17	接地端子	回線保護など、安全のための接地端子です。
18	RS-232C 接続コネクタ	パソコンへ接続するコネクタです。保守用で通常は使用しません。
19	応答起動端子	外部のスイッチなどから、本装置を応答にセットおよび解除するための端子です。

動作モードを設定する

本装置は、①基本モード②選択モード③外部音源モードに対応しています。かかってきた電話にどの動作モードで応答させるか決めます。(同時に複数の動作モードでの応答はできません。)

■設定のしかた

1 電源を入れる。

・最初に電源を入れると、【TS-400 動作モード設定】画面が表示されます。

* TS-400 動作モード設定 *

1. 基本モード
2. 選択モード
3. 外部音源モード

2 **矢印**を押して、動作モードを選ぶ。

・表示は、基本モードを選択した例です。

* TS-400 動作モード設定 *

1. 基本モード
2. 選択モード
3. 外部音源モード

セットを押す。

・**セット**を押すと、設定された動作モードの操作メニュー画面が表示されます。

3 ■基本モードの操作メニュー画面

01年1月1日(月) 00:00

1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ登録
3. 再生	6. 初期登録

■選択および外部音源モードの操作メニュー画面

01年1月1日(月) 00:00

1. 録音・消去	4. タイマ登録
2. 再生	5. 初期登録
3. 着信表示	

■動作モードを変更するには

動作モードを変更したいときや、間違っ動作モードを設定したときは、次の手順に従って動作モードを変更することができます。

1 **終了**を押したまま、電源を入れる。

・初期化の「YES/NO」の選択画面が表示されます。

System の初期化を開始します

YES: **セット** NO: **0**

2 **セット**を押す。

【TS-400 動作モード設定】画面が表示されます。

* TS-400 動作モード設定 *

1. 基本モード
2. 選択モード
3. 外部音源モード

3 左記の「■設定のしかた」の手順2→3の順と同様に動作モードを設定します。

STOP お願い

- 動作モードを変更すると、録音したメッセージや着信データが消去され、また、登録値は初期値に戻ります。最初から、メッセージの録音や初期登録を行ってください。

ワンポイント

- 本装置には電源スイッチはありません。電源プラグをAC コンセントへ差し込むと、電源が入ります。
- 動作モードを設定した後は、以後、電源を入れ直しても、設定した動作モードの操作メニュー画面が表示されます。
- 年月日・時刻表示は、「2001年 1月 1日(月) 00:00」を表示します。「初期登録をする 2. 年月日・時刻を合わせる《→P.13》」に従って、現在の年月日・時刻を登録してください。

操作メニュー画面にする

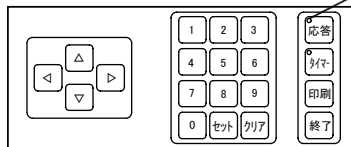
■待機画面を表示する

本装置を操作する場合は、基本モードや選択および外部音源モードの操作メニューから開始します。このとき応答セット中やタイマーモードの状態から各種の操作を行うときは、操作メニュー画面を表示する必要があります。

●応答セット中のとき

応答ランプが点灯しています。

【応答セット中の本装置の前面部】



点灯しています。

応答中の画面表示のとき、

〔応答〕を押す。

1

- ・ 応答中の画面表示については P.47 を参照してください。

- ・ 「YES/NO」の選択画面になります。

応答を解除しますか

YES / **NO**

〔矢印〕を押して、**〔YES〕**を選び、**〔セット〕**を押す。

2

- ・ 応答セットが解除になり、応答ランプが消灯します。
- ・ 新規着信は中止し、応答中の回線があるときは、「初期登録をする 11. 相手切断検出を登録する《→P.24》」にしたがって回線開放します。
- ・ 操作メニュー画面に戻ります。
- ・ 着信中の回線があるときは、応答ランプが早く点滅します。

応答を解除しますか

YES / NO

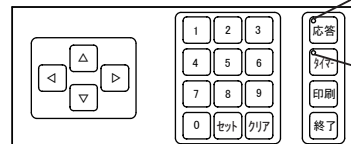
ワンポイント

- 応答ランプとタイマーランプの状態については、P.48の一覧を参照してください。
- 表示された操作メニューについては、設定されている動作モードにより異なります。動作モードの設定については、「動作モードを設定する《→P.10》」を参照してください。

●応答セット中でタイマーモードのとき

応答ランプが点灯または点滅して、タイマーランプが点灯しています。

【応答セット中の本装置の前面部】



点灯または点滅しています。

点灯しています。

応答中の画面表示のとき、

〔タイマー〕を押す。

1

- ・ タイマー解除の「YES/NO」の選択画面になります。

タイマーモードを解除しますか

YES / **NO**

〔矢印〕を押して、**〔YES〕**を選び、**〔セット〕**を押す。

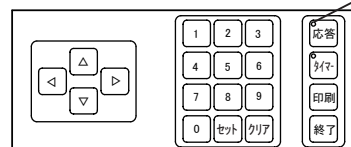
2

- ・ 応答ランプが点灯、タイマーランプが消灯して、応答中の画面に戻ります。

タイマーモードを解除しますか

YES / NO

【応答セット中の本装置の前面部】



点灯しています。

応答中の画面表示のとき、

〔応答〕を押す。

3

- ・ 応答中の画面表示については P.47 を参照してください。

- ・ 「YES/NO」の選択画面になります。

応答を解除しますか

YES / **NO**

〔矢印〕を押して、**〔YES〕**を選び、**〔セット〕**を押す。

4

- ・ 応答セットが解除になり、応答ランプが消灯します。
- ・ 新規着信は中止し、応答中の回線があるときは、「初期登録をする 11. 相手切断検出を登録する《→P.24》」にしたがって回線開放します。
- ・ 操作メニュー画面に戻ります。
- ・ 着信中の回線があるときは、応答ランプが早く点滅します。

応答を解除しますか

YES / NO

初期登録をする

1. 初期登録の内容一覧

年月日・時刻や回線種別など本装置で応答させるための、条件を登録します。登録の一覧は次のとおりです。

項 目		登録内容	動作モード	設定範囲	初期値
1	年月日時刻	西暦、24 時間制で現在年月日・時刻を登録します。	全モード共通	年月日：西暦 (下 2 桁) 時刻：24 時間制	01 年 1 月 1 日 00 時 00 分
2	グループ／種別 (回線種別)	収容している回線ごとに、グループと回線種別および回線使用の有無を登録します。 (選択モードと外部音源モードにはグループの登録はありません。)	基本モード	グループ：0、1 ～ 5 回線種別： 通常 /TD/ND/TK	グループ：1 回線種別：通常
			選択モード	回線使用： する／しない 回線種別：通常 /ND	回線使用：する 回線種別：通常
			外部音源モード	回線使用： する／しない 回線種別： 通常 /TD/ND/TK	回線使用：する 回線種別：通常
3	送出チャンネル	グループごとに送出するメッセージ ch を登録します。基本モードのみの登録で、他モードはありません。	基本モード	ch1 ～ 99	なし
4	送出方式	前 ch と後 ch をどのように組み合わせで送出するか登録します。基本モードのみの登録で、他モードはありません。	基本モード	連結送出 前線返送出 後線返送出	連結送出
5	送出回数	メッセージを最大何回繰り返して送出するか登録します。外部音源モードの登録はありません。	基本モード	0、1 ～ 9 回	1 回
			選択モード	0、1 ～ 9 回	1 回
6	着信ベル回数	着信ベルを何回受信すると、回線へ応答するか登録します。	全モード共通	1 ～ 9 回	1 回
7	回線保留時間	回線応答してから、最大の回線保留時間 (分) を登録します。	全モード共通	0、1 ～ 99 分	30 分
8	リモコン暗証番号	リモコン操作をするときの、暗証番号を登録します。	全モード共通	4 桁任意	なし
9	セキュリティ機能	回線 1 のリモコン回線への着信は、メッセージ (使用しない)、または、信号音 (使用する) で応答するか登録します。	全モード共通	使用する 使用しない	使用しない
10	相手切断検出	回線の開放条件を登録します。 強制切断： 応答解除したときメッセージの区切りで回線開放の有無を登録します。 リバース検出： 回線の極性反転検出の有無を登録します。 BYT 検出： 話中音の検出の有無を登録します。	全モード共通	強制切断： する／しない リバース検出： する／しない BYT 検出： する／しない	強制切断： しない リバース検出： する BYT 検出： する
11	データ集計時刻	着信データを自動的に印刷する時刻を登録します。 (日計、週計、月計)	全モード共通	0 時～ 23 時	0 時
12	プリンタ機能	プリンタの条件を登録します。	全モード共通	改頁：有／無 改行コード： CR/CR+LF プリンタモード： PC-PR / ESC/P 時間計：有／無 日計：有／無 週計：有／無 月計：有／無	改頁：無 改行コード： CR+LF プリンタモード： ESC/P 時間計：有 日計：有 週計：有 月計：有

2. 年月日・時刻を合わせる

◎現在の年月日・時刻を登録します。登録された年月日・時刻に従ってタイマー応答などが行われます。

■登録のしかた（基本モード）

登録例は、「2001年5月30日13時25分」の例です。

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、**【6. 初期登録】**を選ぶ。

01年1月1日(月) 00:00	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマー登録
3. 再生	6. 初期登録

- ・【6. 初期登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、**【1. 年月日時刻】**を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信ベル回数

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. リモコン暗証番号	11. データ集計時刻
9. 静止機能	12. プリント機能

・**セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

セットを押す。

- ・【年月日時刻登録】の画面になります。

■年月日の登録

10KEYを押して、「年」を入力し、**セット**を押す。

* 年月日時刻登録 *
01年1月1日(月) 00:00

3 同様に、「月→日」の順に登録します。

- ・「日」の登録が終わると、時刻の登録に移ります。

■時刻の登録

10KEYを押して、「時」を入力し、**セット**を押す。

* 年月日時刻登録 *
01年5月30日(水) 00:00

同様に、「分」の登録をします。

- ・「分」の登録が終わると、【初期登録メニュー 1/2】画面に戻ります。

4 **終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日(水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマー登録
3. 再生	6. 初期登録

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。
- ・操作メニュー画面になると、今登録した「年月日・時刻」を表示し、分単位で計時をします。

■登録のしかた（選択モード）

登録例は、「2001年5月30日13時25分」の例です。

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、**【5. 初期登録】**を選ぶ。

01年1月1日(月) 00:00	
1. 録音・消去	4. タイマー登録
2. 再生	5. 初期登録
3. 着信表示	

- ・【5. 初期登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、**【1. 年月日時刻】**を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 着信ベル回数
2. 回線種別	5. 回線保留時間
3. 送出回数	6. リモコン暗証番号

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 静止機能	10. プリント機能
8. 相手切断検出	
9. データ集計時刻	

・**セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

セットを押す。

- ・【年月日時刻登録】の画面になります。

■年月日の登録

10KEYを押して、「年」を入力し、**セット**を押す。

* 年月日時刻登録 *
01年1月1日(月) 00:00

3 同様に、「月→日」の順に登録します。

- ・「日」の登録が終わると、時刻の登録に移ります。

■時刻の登録

10KEYを押して、「時」を入力し、**セット**を押す。

* 年月日時刻登録 *
01年5月30日(水) 00:00

同様に、「分」の登録をします。

- ・「分」の登録が終わると、【初期登録メニュー 1/2】画面に戻ります。

4 **終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日(水) 13:25	
1. 録音・消去	4. タイマー登録
2. 再生	5. 初期登録
3. 着信表示	

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。
- ・操作メニュー画面になると、今登録した「年月日・時刻」を表示し、分単位で計時をします。

初期登録をする

■登録のしかた（外部音源モード）

登録例は、「2001 年 5 月 30 日 13 時 25 分」の例です。

- 1 操作メニュー画面のとき、**（矢印）**を押して、**【5. 初期登録】**を選ぶ。
- ・ **【5. 初期登録】**が反転表示になります。

01 年 1 月 1 日（月）00：00
1. 録音・消去 4. タイマ登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

- 2 **（セット）**を押す。
（矢印）を押して、**【1. 年月日時刻】**を選ぶ。
- ・ **（セット）**を押したとき、**【初期登録メニュー 1/2】**の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 1/2 *

1. 年月日時刻	4. 回線保留時間
2. 回線種別	5. リモコン暗証番号
3. 着信^\#回数	6. セット機能

* 初期登録メニュー 2/2 *

7. 相手切断検出
8. データ集計時刻
9. プリセット機能

- （セット）**を押す。
- ・ **【年月日時刻登録】**の画面になります。

■年月日の登録

- （10KEY）**を押して、「年」を入力し、**（セット）**を押す。

* 年月日時刻登録 *

01 年 1 月 1 日（月）00：00

- 3 同様に、「月→日」の順に登録します。
- ・ 「日」の登録が終わると、時刻の登録に移ります。

■時刻の登録

- （10KEY）**を押して、「時」を入力し、**（セット）**を押す。

* 年月日時刻登録 *

01 年 5 月 30 日（水）00：00

- 同様に、「分」の登録をします。
- ・ 「分」の登録が終わると、**【初期登録メニュー 1/2】**画面に戻ります。

- （終了）**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01 年 5 月 30 日（水）13：25
1. 録音・消去 4. タイマ登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

- 4
- ・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
- ・ 操作メニュー画面になると、今登録した「年月日・時刻」を表示し、分単位で計時をします。

■年月日・時刻を修正するには

手順 1 からやり直す。

■時刻を正確に合わせるには

手順 3 の「分」の登録で、現在時刻の 1 分後を選び、ちょうど、0 秒になったとき、**（セット）**を押す。

STOP お願い

- 約 10 日以上停電などで電源が切れていると、「年月日・時刻」は消去され、「01 年 1 月 1 日 00:00」に戻ります。通電後、手順 1 から登録をやり直してください。

ワンポイント

- 年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。
年：00 年～99 年（西暦の下 2 桁で入力します。）
月：1 月～12 月
日：1 日～31 日（年月に対応した最大日）
時：00 時～23 時（24 時間制で入力します。）
分：00 分～59 分
- 曜日は、内蔵カレンダーで、自動表示されます。
- お買い上げ時は、「01 年 1 月 1 日 00:00」から計時を開始します。
- 時計の精度は、月差±5 秒以内（通電時 25℃）です。

3. 回線種別を登録する

◎ 回線グループ分け、回線種別を回線ごとに登録します。

■登録のしかた（基本モード）

- 操作メニュー画面のとき、**【矢印】**を押して、**【6. 初期登録】**を選ぶ。
 ・ **【6. 初期登録】**が反転表示になります。
 01 年 5 月 30 日 (水) 13:25
 1. ch 切替 4. 着信表示
 2. 録音・消去 5. タイマ-登録
 3. 再生 6. 初期登録
- 【セット】**を押す。
【矢印】を押して、**【2. グループ / 種別】**を選ぶ。
 ・ **【セット】**を押したとき、**【初期登録メニュー 1/2】**の選択画面になります。
 * 初期登録メニュー 1/2 *
 1. 年月日時刻 4. 送出方式
 2. グループ / 種別 5. 送出回数
 3. 送出チャンネル 6. 着信ベル回数
 * 初期登録メニュー 2/2 *
 7. 回線保留時間 10. 相手切断検出
 8. リモコン暗証番号 11. データ集計時刻
 9. 待機機能 12. プリント機能
- 【セット】**を押す。
【10KEY】を押して、回線番号 1 の「グループ No」を入力する。
 ・ **【セット】**を押したとき、回線番号 1 の「グループ No」の登録画面になります。
 * グループ / 種別登録 1/6 *
 回線番号 : 01 グループ No : 1
 回線種別 : [通常] TD ND TK
- 【セット】**を押す。
【矢印】を押して、回線番号 1 の「回線種別」を選ぶ。
 ・ **【セット】**を押したとき、回線番号 1 の「回線種別」の登録画面になります。
 * グループ / 種別登録 1/6 *
 回線番号 : 01 グループ No : 1
 回線種別 : [通常] TD ND TK
- 【セット】**を押す。
 ・ **【セット】**を押したとき、回線番号 2 の「グループ No」の登録画面になります。
 * グループ / 種別登録 2/6 *
 回線番号 : 02 グループ No : 1
 回線種別 : [通常] TD ND TK
- 手順 3～5 を繰り返して、収容回線ごとに、「グループ No」および「回線種別」を登録する。
 ・ 最後の回線の登録が終わると、次の**【送出チャンネル登録】**の画面に移り、続いて「送出チャンネル」の登録ができます。
 * 送出チャンネル登録 *
 グループ No: 1 2 3 4 5
 前 chNo : 1
 後 chNo :
- 登録が終わるときは**【終了】**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。
 ・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
 01 年 5 月 30 日 (水) 13:25
 1. ch 切替 4. 着信表示
 2. 録音・消去 5. タイマ-登録
 3. 再生 6. 初期登録

■登録のしかた（選択モード）

- 操作メニュー画面のとき、**【矢印】**を押して、**【5. 初期登録】**を選ぶ。
 ・ **【5. 初期登録】**が反転表示になります。
 01 年 5 月 30 日 (水) 13:25
 1. 録音・消去 4. タイマ-登録
 2. 再生 5. 初期登録
 3. 着信表示
- 【セット】**を押す。
【矢印】を押して、**【2. 回線種別】**を選ぶ。
 ・ **【セット】**を押したとき、**【初期登録メニュー 1/2】**の選択画面になります。
 * 初期登録メニュー 1/2 *
 1. 年月日時刻 4. 着信ベル回数
 2. 回線種別 5. 回線保留時間
 3. 送出回数 6. リモコン暗証番号
 * 初期登録メニュー 2/2 *
 7. リモコン機能 10. プリント機能
 8. 相手切断検出
 9. データ集計時刻
- 【セット】**を押す。
【矢印】を押して、回線番号 1 の「回線使用」の有無を選ぶ
 ・ **【セット】**を押したとき、回線番号 1 の「回線使用」の有無の登録画面になります。
 * 回線種別登録 1/6 *
 回線番号 : 01 グループ No : A
 回線使用 : [する] しない
 回線種別 : [通常] ND
- 【セット】**を押す。
【矢印】を押して、回線番号 1 の「回線種別」を選ぶ。
 ・ **【セット】**を押したとき、回線番号 1 の「回線種別」の登録画面になります。
 * 回線種別登録 1/6 *
 回線番号 : 01 グループ No : A
 回線使用 : [する] しない
 回線種別 : [通常] ND
- 【セット】**を押す。
 ・ **【セット】**を押したとき、回線番号 2 の「回線使用」の有無の登録画面になります。
 * 回線種別登録 2/6 *
 回線番号 : 02 グループ No : A
 回線使用 : [する] しない
 回線種別 : [通常] ND
- 手順 3～5 を繰り返して、収容回線ごとに、「回線使用」および「回線種別」を登録する。
 ・ 最後の回線の登録が終わると、次の**【送出回数登録】**の画面に移り、続いて「送出回数」の登録ができます。
 * 送出回数登録 *
 (回数: 1 ~9 無制限: 0)
 送出回数: 1
- 登録が終わるときは**【終了】**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。
 ・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
 01 年 5 月 30 日 (水) 13:25
 1. 録音・消去 4. タイマ-登録
 2. 再生 5. 初期登録
 3. 着信表示

初期登録をする

■登録のしかた（外部音源モード）

- 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。

01年5月30日(水) 13:25
1. 録音・消去 4. タイトル登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

 - ・【5. 初期登録】が反転表示になります。
- セット**を押す。**矢印**を押して、【2. 回線種別】を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *
1. 年月日時刻 4. 回線保留時間
2. 回線種別 5. 呼び出し暗証番号
3. 着信ベル回数 6. 待機機能

 - ・【セット】を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。
- セット**を押す。**矢印**を押して、回線番号 1 の「回線使用」の有無を選ぶ

* 初期登録メニュー 2/2 *
7. 相手切断検出
8. データ集計時刻
9. プリント機能

 - ・【セット】を押したとき、回線番号 1 の「回線使用」の有無の登録画面になります。
- セット**を押す。**矢印**を押して、回線番号 1 の「回線種別」を選ぶ。

* 回線種別登録 1/6 *
回線番号: 01 ボード種別: A
回線使用: [する] しない
回線種別: [通常] TD ND TK

 - ・【セット】を押したとき、回線番号 1 の「回線種別」の登録画面になります。
- セット**を押す。

* 回線種別登録 2/6 *
回線番号: 02 ボード種別: A
回線使用: [する] しない
回線種別: [通常] TD ND TK

 - ・【セット】を押したとき、回線番号 2 の「回線使用」の有無の登録画面になります。
- 手順 3～5 を繰り返して、収容回線ごとに、「回線使用」および「回線種別」を登録する。

* 着信ベル回数登録 *
(回数: 1 ～ 9)
ベル回数: 1

 - ・最後の回線の登録が終わると、次の【着信ベル回数登録】の画面に移り、続いて「着信ベル回数」の登録ができます。
- 登録が終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日(水) 13:25
1. 録音・消去 4. タイトル登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

 - ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

グループ No など、入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押す。

入力された登録値は、空欄となります。

ワンポイント

●回線のグループ分けについて

基本モードのとき：

回線を最大 5 グループに分けることができます。

選択モードおよび外部音源モードのとき：

グループ分けはできません。

●回線使用について

回線を収容していないとき、または、収容していても回線応答を中止したいときは、

基本モードのとき：

グループ No を「0」に登録します。

選択モードおよび外部音源モードのとき：

回線使用を「しない」に登録します。

●回線種別について

接続できる回線種別は、次のとおりです。

- ・アナログ一般公衆回線
(ナンバーディスプレイ未契約) ----- 通常
- ・アナログ一般公衆回線
(ナンバーディスプレイ契約) ----- ND
- ・テレドーム回線 ----- TD
- ・トーキー音源回線 ----- TK

●ボード種別について

収容している回線ボードの種別を表示します。自動で表示され、登録の必要はありません。

STOP お願い

●アナログ一般公衆回線（ナンバーディスプレイ契約）に接続するとき：

本装置には、先方の電話番号を表示する機能はありません。ナンバーディスプレイ機能付きの電話機などとともにお使いください。

●トーキー音源回線に接続するとき：

アフターサービスの場合をのぞいて本装置からの音声を止めないようにしてください。プログラムタイマーや前面の[応答]ボタンの操作で、本装置が応答できない状態を作らないようにご注意ください。

音声が終わると N T T の設備が警報状態になります。

●選択モードで運用するとき：

テレドーム回線、トーキー音源回線は接続できません。アナログ一般回線を接続して運用してください。

4. 送出チャンネルを登録する

◎ かかってきた電話に、どのチャンネルのメッセージを送出するか、回線グループごとに登録します。

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

01 年 5 月 30 日 (水) 13 : 25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマ登録
3. 再生 6. 初期登録

・【6. 初期登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【3. 送出チャンネル】を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *
1. 年月日時刻 4. 送出方式
2. グループ / 種別 5. 送出回数
3. 送出チャンネル 6. 着信へル回数

・ **セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 2/2 *
7. 回線保留時間 10. 相手切断検出
8. リモコン暗証番号 11. テーパ集計時刻
9. セキュリティ機能 12. ブリタ機能

3 **セット**を押す。
10KEYを押して、グループ番号 1 の「前 ch No」を入力する。

* 送出チャンネル登録 *
グループ No: 1 2 3 4 5
前 chNo: 1
後 chNo:

・ **セット**を押したとき、グループ番号 1 の「前 ch No」の登録画面になります。

4 **セット**を押す。
10KEYを押して、グループ番号 1 の「後 ch No」を入力する。

* 送出チャンネル登録 *
グループ No: 1 2 3 4 5
前 chNo: 1
後 chNo: 2

・ **セット**を押したとき、グループ番号 1 の「後 ch No」の登録画面になります。

5 **セット**を押す。

* 送出チャンネル登録 *
グループ No: 1 2 3 4 5
前 chNo: 1
後 chNo: 2

・ **セット**を押したとき、グループ番号 2 の「前 ch No」の登録画面になります。

6 手順 3～5 を繰り返して、グループごとに、「前 ch No」および「後 ch No」を登録する。

* 送出方式登録 *
1. [連続送出]
2. 前繰返送出
3. 後繰返送出

・ 最後の登録が終わると、次の【送出方式登録】の画面に移り、続いて「送出方式」の登録ができます。

7 登録が終わるときは **終了** を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01 年 5 月 30 日 (水) 13 : 25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマ登録
3. 再生 6. 初期登録

・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。

ワンポイント

- 基本モードでお使いのときのみの登録です。
- チャンネル番号は、ch1～ch99 の範囲です。
送出しないチャンネルは、空欄のままとします。(間違えてチャンネル番号を入力したときは、**クリア**を押して空欄にします。)

5. 送出方式を登録する

◎ かかってきた電話に、どのようにメッセージを組み合わせで送出するか、登録します。

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

- ・【6. 初期登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【4. 送出方式】を選ぶ。

- ・**セット**を押したとき、【初期登録メニュー1/2】の選択画面になります。

3 **セット**を押す。
矢印を押して、「送出方式」を選ぶ。

- ・**セット**を押したとき、【送出方式登録】の画面になります。

4 **セット**を押す。

- ・**セット**を押したとき、次の【送出回数登録】の画面に移り、続いて、「送出回数」の登録ができます。

登録が終わるときは**終了**を、
5 必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■修正するには

手順1から登録をやり直す。

01年5月30日（水）13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイム登録
3. 再生	6. 初期登録

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信ベル回数

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. 呼び出し暗証番号	11. データ集計時刻
9. 留守機能	12. プリント機能

* 送出方式登録 *	
1. [連結送出]	
2. 前線返送出	
3. 後線返送出	

* 送出回数登録 *	
(回数: 1 ~ 9 無制限: 0)	
送出回数: 1	

01年5月30日（水）13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイム登録
3. 再生	6. 初期登録

ワンポイント

- 基本モードでお使いのときだけの登録です。
- 送出方式について

連結送出 : 前 ch と後 ch を連結して、「6. 送出回数を登録する《→ P.19》」で登録された繰返回数送出します。

前線返送出 : 前 ch を「6. 送出回数を登録する《→ P.19》」で登録された繰返回数送出したあと、後 ch を送出します。

後線返送出 : 前 ch を送出したあと、後 ch を「6. 送出回数を登録する《→ P.19》」で登録された繰返回数送出します。

6. 送出回数を登録する

◎ かかってきた電話に、メッセージを何回送出するか、登録します。

この登録値は回線種別がアナログ一般公衆回線（通常およびND（※））のときに有効となります。

※ ND：ナンバーディスプレイの契約をしているアナログ一般公衆回線。

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

01 年 5 月 30 日 (水) 13 : 25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ-登録
3. 再生	6. 初期登録

・【6. 初期登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【5. 送出回数】を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信ベル回数

・**セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

3 **セット**を押す。
10KEYを押して、「送出回数」を入力する。

* 送出回数登録 *	
(回数: 1 ~ 9)	無制限: 0)
送出回数: 1	

・**セット**を押したとき、【送出回数登録】の画面になります。

4 **セット**を押す。

* 着信ベル回数登録 *	
(回数: 1 ~ 9)	
ベル回数: 1	

・**セット**を押したとき、次の【着信ベル回数登録】の画面に移り、続いて、「着信ベル回数」の登録ができます。

5 登録を終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01 年 5 月 30 日 (水) 13 : 25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ-登録
3. 再生	6. 初期登録

・1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【3. 送出回数】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順3～5と同じ手順で送出回数を登録します。

■修正するには

手順1 から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。

ワンポイント

- 外部音源モードでの登録はありません。
- 送出回数の登録範囲は、1～9 回です。
送出回数を「0」に登録すると、無制限となります。（相手が電話を切るか、回線保留時間になるまで、メッセージを送出します。）
- 回線種別をテレドーム回線（TD）またはトーキー音源回線（TK）で設定した回線は、送出回数の登録値に関係なく、相手が電話を切るまでメッセージを送出します。

STOP お願い

- 回線種別をテレドーム回線（TD）またはトーキー音源回線（TK）で設定した回線は、送出回数の登録値を1～9回で設定してください。0（無制限）で設定した場合は、送出チャンネルが切り替わりません。詳細は「送出チャンネルを切り替える《→ P.44》」を参照してください。

7. 着信ベル回数を登録する

◎ かかってきた電話に、何回目の着信ベルで応答するか、登録します。

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

01年5月30日 (水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ-登録
3. 再生	6. 初期登録

- ・【6. 初期登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【6. 着信ベル回数】を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信ベル回数

・ **セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. 圧縮暗証番号	11. データ集計時刻
9. 拡張機能	12. プリント機能

3 **セット**を押す。
10KEYを押して、「着信ベル回数」を入力する。

* 着信ベル回数登録 *	
(回数: 1 ~ 9)	
ベル回数: 1	

・ **セット**を押したとき、【着信ベル回数登録】の画面になります。

4 **セット**を押す。

* 回線保留時間登録 *	
(分: 1 ~ 99 無制限: 0)	
保留時間: 30	

・ **セット**を押したとき、次の【回線保留時間登録】の画面に移り、続いて、「回線保留時間」の登録ができます。

登録が終わるときは **終了** を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日 (水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ-登録
3. 再生	6. 初期登録

・ 1回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【4. 着信ベル回数】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順3～5と同じ手順で着信ベル回数を登録します。

■登録のしかた（外部音源モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【3. 着信ベル回数】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順3～5と同じ手順で着信ベル回数を登録します。

■修正するには

手順1から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。



- 着信ベル回数の登録範囲は、1～9回です。

8. 回線保留時間を登録する

◎ かかってきた電話に応答後、回線保留する最大時間を登録します。

この登録値はアナログ回線（一般）およびアナログ回線（ナンバーディスプレイ）に有効となります。

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
矢印を押して、【6. 初期登録】
1を選ぶ。

01 年 5 月 30 日 (水) 13 : 25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマ-登録
3. 再生 6. 初期登録

- ・【6. 初期登録】が反転表示になります。

セットを押す。
矢印を押して、【7. 回線保留時間】を選ぶ。

・ **セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信ベル回数

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. リモコン暗証番号	11. データ集計時刻
9. テレリ機能	12. プリント機能

セットを押す。
10KEYを押して、「回線保留時間」を入力する。

・ **セット**を押したとき、【回線保留時間登録】の画面になります。

* 回線保留時間登録 *	
(分: 1 ~ 99 無制限: 0)	
保留時間: 30	

セットを押す。

・ **セット**を押したとき、次の【リモコン暗証番号登録】の画面に移り、続いて、「リモコン暗証番号」の登録ができます。

* リモコン暗証番号登録 *	
暗証番号: * 1234	

登録が終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

5

01 年 5 月 30 日 (水) 13 : 25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマ-登録
3. 再生 6. 初期登録

- ・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【5. 回線保留時間】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順 3 ~ 5 と同じ手順で回線保留時間を登録します。

■登録のしかた（外部音源モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【4. 回線保留時間】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順 3 ~ 5 と同じ手順で回線保留時間を登録します。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。

ワンポイント

- 回線保留時間の登録範囲は、1 ~ 99 分です。
回線保留時間を「0」に登録すると、無制限となります。
(相手が電話を切るまで、メッセージを送出します。)
- 回線種別をテレドーム回線 (TD) またはトーキー音源回線 (TK) に設定した回線は、回線保留時間の登録値に関係なく、相手が電話を切るまでメッセージを送出します。

9. リモコン暗証番号を登録する

◎ リモコン機能を使用するときの暗証番号を登録します。

■登録のしかた（基本モード）

- 操作メニュー画面のとき、
1 **〔矢印〕**を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

・【6. 初期登録】が反転表示になります。

01年5月30日（水）13:25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマ登録
3. 再生 6. 初期登録

- 2** **〔セット〕**を押す。
〔矢印〕を押して、【8. リモコン暗証番号】を選ぶ。

・**〔セット〕**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 1/2 *

1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信VTR回数

* 初期登録メニュー 2/2 *

7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. リモコン暗証番号	11. テキスト集計時刻
9. セキュリティ機能	12. プリンタ機能

〔セット〕を押す。
〔10KEY〕を押して、「リモコン暗証番号」を入力する。

・**〔セット〕**を押したとき、【リモコン暗証番号登録】の画面になります。

* リモコン暗証番号登録 *

暗証番号: *1234

- 4** **〔セット〕**を押す。

・**〔セット〕**を押したとき、次の【セキュリティ機能登録】の画面に移り、続いて、「セキュリティ機能」の登録ができます。

* セキュリティ機能登録 *

1. 使用する
2. [使用しない]

- 登録が終わるときは**〔終了〕**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。
5

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

01年5月30日（水）13:25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマ登録
3. 再生 6. 初期登録

■登録のしかた（選択モード）

- 操作メニュー画面のとき、**〔矢印〕**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
- 〔セット〕**を押す。
〔矢印〕を押して、【6. リモコン暗証番号】を選ぶ。
- 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順3～5と同じ手順でリモコン暗証番号を登録します。

■登録のしかた（外部音源モード）

- 操作メニュー画面のとき、**〔矢印〕**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
- 〔セット〕**を押す。
〔矢印〕を押して、【5. リモコン暗証番号】を選ぶ。
- 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順3～5と同じ手順でリモコン暗証番号を登録します。

■修正するには

手順1から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**〔クリア〕**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。



ワンポイント

- リモコン操作をしない場合は、登録は必要ありません。
- 暗証番号は、数値で4桁登録します。（3桁以下では登録できません。）

10. セキュリティ機能を登録する

◎ リモコン回線に着信したとき、セキュリティ機能の使用の有無を登録します。

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
矢印を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

01 年 5 月 30 日 (水) 13 : 25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマ-登録
3. 再生 6. 初期登録

- ・【6. 初期登録】が反転表示になります。

セットを押す。
矢印を押して、【9. セキュリティ機能】を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信ベル回数

・ **セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. リモコン暗証番号	11. データ集計時刻
9. セキュリティ機能	12. プリント機能

セットを押す。
矢印を押して、「セキュリティ機能」の使用の有無を選ぶ。

* セキュリティ機能登録 *	
1. 使用する	2. [使用しない]

・ **セット**を押したとき、【セキュリティ機能登録】の画面になります。

セットを押す。

* 相手切断検出登録 *	
強制切断 : する	[しない]
リバーシ検出 : [する]	しない
BYT 検出 : [する]	しない

・ **セット**を押したとき、次の【相手切断検出登録】の画面に移り、続いて、「相手切断検出」の登録ができます。

登録が終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01 年 5 月 30 日 (水) 13 : 25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマ-登録
3. 再生 6. 初期登録

- ・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【7. セキュリティ機能】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順 3～5 と同じ手順でセキュリティ機能の有無を登録します。

■登録のしかた（外部音源モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【6. セキュリティ機能】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順 3～5 と同じ手順でセキュリティ機能の有無を登録します。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

ワンポイント

- リモコン回線（回線 1）へ着信したときの応答方法を登録します。

【使用する】に登録した場合：

回線 1 へ着信したとき、信号音で応答します。リモコン暗証番号を登録してないときは、着信があっても、応答しません。

【使用しない】に登録した場合：

回線 1 へ着信したとき、メッセージで応答します。リモコン暗証番号を登録してないときでも、着信に応答します。

11. 相手切断検出を登録する

◎ 相手が電話を切ったとき、どの信号を有効にするかを登録します。

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

01年5月30日(水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイム登録
3. 再生	6. 初期登録

- ・【6. 初期登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【10. 相手切断検出】を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信ベル回数

・ **セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. 呼び出し番号	11. データ集計時刻
9. 呼び出し機能	12. プリント機能

3 **セット**を押す。
矢印を押して、「強制切断」の検出の有無を選ぶ。

* 相手切断検出登録 *	
強制切断: する	しない
リバース検出: [する]	しない
BYT 検出: [する]	しない

・ **セット**を押したとき、「強制切断」の有無の登録画面になります。

4 **セット**を押す。
矢印を押して、「リバース検出」の有無を選ぶ。

* 相手切断検出登録 *	
強制切断: する	[しない]
リバース検出: [する]	しない
BYT 検出: [する]	しない

・ **セット**を押したとき、「リバース検出」の有無の登録画面になります。

5 **セット**を押す。
矢印を押して、「BYT 検出」の有無を選ぶ。

* 相手切断検出登録 *	
強制切断: する	[しない]
リバース検出: [する]	しない
BYT 検出: [する]	しない

・ **セット**を押したとき、「BYT 検出」の有無の登録画面になります。

6 **セット**を押す。

* データ集計時刻登録 *	
集計時刻: 0	(0 ~ 23)

・ 「BYT 検出」の登録が終わると、次の【データ集計時刻登録】の画面に移り、続いて「データ集計時刻」の登録ができます。

7 登録が終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日(水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイム登録
3. 再生	6. 初期登録

・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【8. 相手切断検出】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順 3 ~ 7 と同じ手順で相手切断検出を登録します。

■登録のしかた（外部音源モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【7. 相手切断検出】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順 3 ~ 7 と同じ手順で相手切断検出を登録します。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

ワンポイント

- 回線を切る条件を登録します。

強制切断:

- ・ [する] に登録すると、回線応答を解除したとき、メッセージの区切りで、回線開放します。
- ・ [しない] に登録すると、メッセージ送出の登録条件になったとき、回線開放します。

リバース検出:

相手が電話を切ったときに回線の極性が反転することを、回線を切る信号として利用する／しないを登録します。

BYT 検出:

相手が電話を切ったとき、出力される話中信号を検出したとき回線開放を「する」「しない」を登録します。

12. データ集計時刻を登録する

◎ 着信データを集計する区切り時刻を登録します。登録した時刻に、日計・週計・月計を自動的に印刷します。

■登録のしかた（基本モード）

1 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

01 年 5 月 30 日 (水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ登録
3. 再生	6. 初期登録

・【6. 初期登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【11. データ集計時刻】を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信ベル回数

・ **セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. リモコン暗証番号	11. データ集計時刻
9. テレホン機能	12. プリンタ機能

3 **セット**を押す。
10KEYを押して、「時刻」を入力する。

* データ集計時刻登録 *	
集計時刻: 0 (0 ~ 23)	

・ **セット**を押したとき、【データ集計時刻登録】の画面になります。

4 **セット**を押す。

* プリンタ機能登録 1/2 *	
改頁	: 有 [無] 行数 66
改行コード	: CR [CR+LF]
プリンタモード	: PC-PR [ESC/P]

・ **セット**を押したとき、次の【プリンタ機能登録】の画面に移り、続いて、「プリンタ機能」の登録ができます。

5 登録が終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01 年 5 月 30 日 (水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ登録
3. 再生	6. 初期登録

・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【9. データ集計時刻】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順 3 ~ 5 と同じ手順でデータ集計時刻を登録します。

■登録のしかた（外部音源モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【8. データ集計時刻】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順 3 ~ 5 と同じ手順でデータ集計時刻を登録します。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。

ワンポイント

- 着信データの自動印刷は、下記の集計区切りで印刷されます。
 - 日計：集計時刻までの 1 日分のデータを、その日の登録した時刻 (00 分) に印刷します。
 - 週計：1 週間分のデータを、月曜日の登録した時刻 (00 分) に印刷します。
 - 月計：1 月分のデータを、1 日の登録した時刻 (00 分) に印刷します。

13. プリンタ機能を登録する

◎ 接続するプリンタと自動プリントアウトの条件を登録します。

■登録のしかた（基本モード）

- 操作メニュー画面のとき、
1. **矢印**を押して、【6. 初期登録】を選ぶ。

01年5月30日 (水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ-登録
3. 再生	6. 初期登録

- ・【6. 初期登録】が反転表示になります。

2. **セット**を押す。
矢印を押して、【12. プリンタ機能】を選ぶ。

* 初期登録メニュー 1/2 *	
1. 年月日時刻	4. 送出方式
2. グループ / 種別	5. 送出回数
3. 送出チャンネル	6. 着信V 回数

- ・**セット**を押したとき、【初期登録メニュー 1/2】の選択画面になります。

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. 呼び出し暗証番号	11. データ集計時刻
9. 録音機能	12. プリンタ機能

3. **セット**を押す。
・**セット**を押したとき、【プリンタ機能登録 1/2】の登録画面になります。

* プリンタ機能登録 1/2 *	
改頁 : 有	行数 66
改行コード : CR	[CR+LF]
プリンタモード : PC-PR	[ESC/P]

■改頁の登録

- 矢印**を押して、「改頁」の有無を選ぶ。

* プリンタ機能登録 2/2 *	
自動プリントアウト	
時間計 : [有] 無	週計 : [有] 無
日計 : [有] 無	月計 : [有] 無

- セット**を押す。

■改行コードの登録

- 矢印**を押して、「改行コード」を選ぶ。

- セット**を押す。

■プリンタモードの登録

- 矢印**を押して、「プリンタモード」を選ぶ。

- セット**を押す。

■自動プリントアウトの登録

- 矢印**を押して、「時間計」の印刷の有無を選ぶ。

- セット**を押す。

- 以下、同様に、「日計→週計→月計」の順に、印刷の有無を登録する。

- ・「月計」の登録が終わると、【初期登録メニュー 2/2】の登録画面に移ります。

* 初期登録メニュー 2/2 *	
7. 回線保留時間	10. 相手切断検出
8. 呼び出し暗証番号	11. データ集計時刻
9. 録音機能	12. プリンタ機能

4. 登録が終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日 (水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ-登録
3. 再生	6. 初期登録

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【10. プリンタ機能】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順3～4と同じ手順でプリンタ機能を登録します。

■登録のしかた（外部音源モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【5. 初期登録】を選ぶ。
2. **セット**を押す。
矢印を押して、【9. プリンタ機能】を選ぶ。
3. 左記の「■登録のしかた（基本モード）」の手順3～4と同じ手順でプリンタ機能を登録します。

■修正するには

手順1から登録をやり直す。



ワンポイント

- 着信データを印刷しないときは、登録は必要ありません。
- 改頁を「有」にした場合、**セット**を押すと、行数の登録になります。
3～99行の範囲で登録できます。

メモ

メッセージを録音する

◎ 回線応答したとき送出するメッセージを録音します。

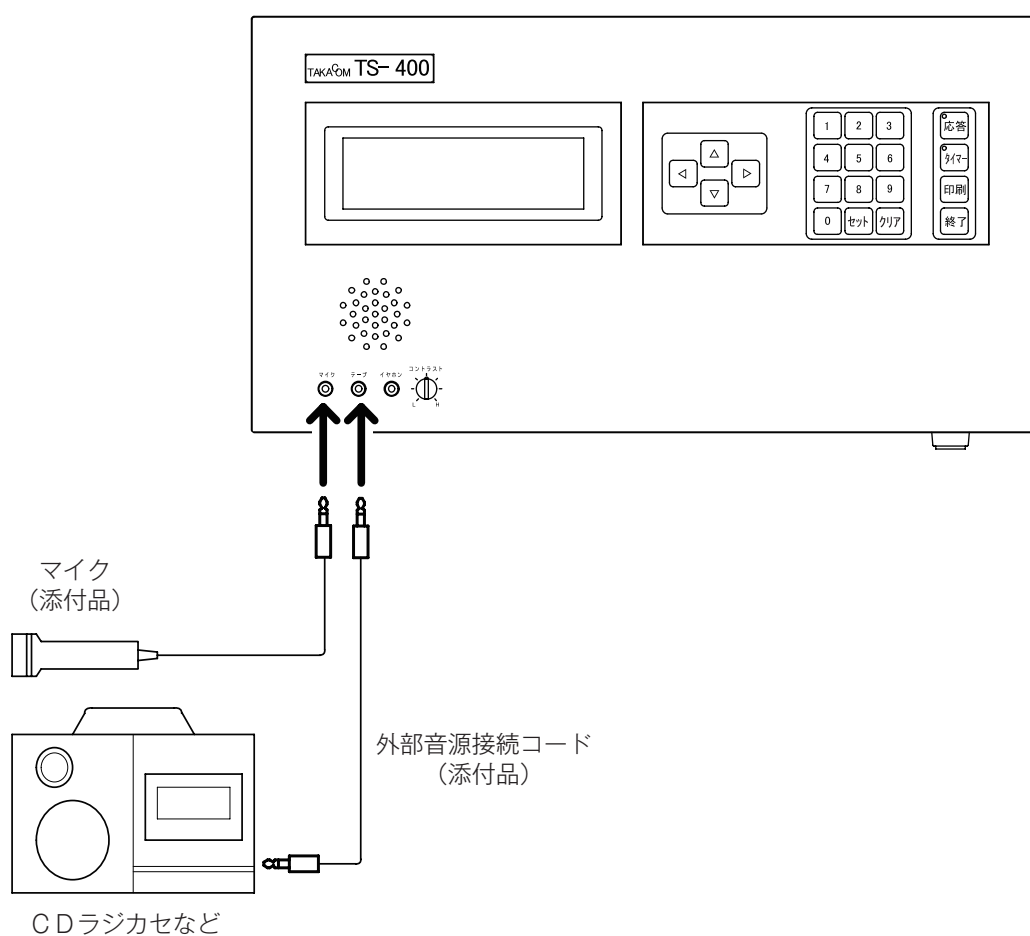
1. 録音の前に

■ 録音方法の種類

録音方法は、次の3種類あります。

- ① マイクからの録音
- ② 外部音源（CD ラジカセなど）からのダビング録音
- ③ マイクと外部音源（CD ラジカセなど）とのミキシング録音

● 外部機器の接続



ワンポイント

- マイクと CD ラジカセなどを接続すると両方からのメッセージを録音できます。
 - ※ マイクから録音のときは、CD ラジカセなどの接続は必要ありません。
 - また、CD ラジカセなどからダビング録音のときはマイクの接続は必要ありません。

■ 録音メッセージについて

(1) 録音容量

- ・標準 30 分です。
- ・フラッシュメモリーボード（別売）の増設により、容量を 60 分にすることができます。
- ・全チャンネルの録音時間の合計が、録音容量以下なら各チャンネルの録音時間の制限はありません。

(2) メッセージの種類とチャンネル数

●基本モード

- ・チャンネルは、ch1 ～ ch99 の 99ch あります。
- ・99ch のうち、各グループごとの前 ch および後 ch に必要なメッセージを録音します。

●選択モード

- ・次の 3 種類のメッセージがあります。
 - ①案内メッセージ (ch10 に固定)
 - ②情報メッセージ (ch20 ～ ch49 の 30ch)
 - ③終了メッセージ (ch90 固定)
- ・案内メッセージと情報メッセージ 30ch のうち必要なメッセージを録音します。
- ・終了メッセージは、録音していないときは送出しません。

●外部音源モード

- ・案内メッセージ (ch10 に固定) の 1 種類です。
- ・案内メッセージは、録音していないときは送出しません。

(3) 録音の画面表示

●メモリ残時間

- ・録音可能時間が、[分：秒] で表示されます。
- ・録音が始まると秒単位で減算表示します。

●録音時間

- ・メッセージ (ch) が選択されると、00 秒が表示されます。(すでに録音済みのときは、その録音時間が表示されます。)
- ・録音が始まると、秒単位で加算表示します。

基本モード

* 録音・消去 * メリ残 17 分 20 秒
録音チャンネル : 1ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間 : 0 分 07 秒

選択モード (案内メッセージ)

* 録音・消去 * メリ残 17 分 17 秒
案内メッセージ : 10ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間 : 0 分 10 秒

選択モード (情報メッセージ)

* 録音・消去 * メリ残 17 分 27 秒
情報メッセージ : 20ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間 : 0 分 00 秒

選択モード (終了メッセージ)

* 録音・消去 * メリ残 17 分 17 秒
終了メッセージ : 90ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間 : 0 分 10 秒

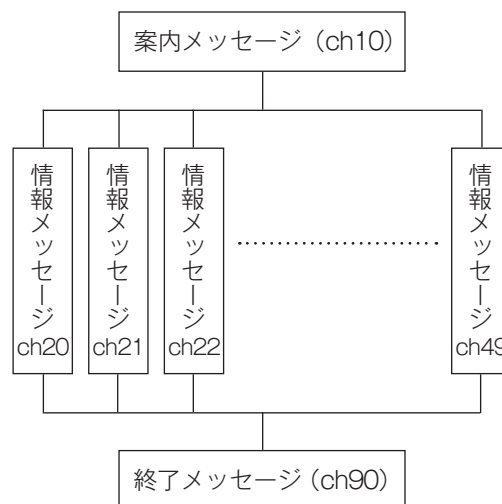
外部音源モード (案内メッセージ)

* 録音・消去 * メリ残 17 分 17 秒
案内メッセージ : 10ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間 : 0 分 10 秒

選択モードのメッセージについて

選択モードは、電話をかけてきた人が聞きたいメッセージを選択します。メッセージの構成と選択のしかたは次のとおりです。

●メッセージの構成



●情報メッセージの選択のしかた

1. 電話機から電話をかけます。
 - ・本装置が自動応答し、案内メッセージを送出します。
 - ・案内メッセージには、情報の内容と、そのダイヤル番号 (チャンネル番号) を録音しておきます。
2. 案内メッセージが聞こえたら、プッシュホンから選択する情報メッセージに応じた 2 桁の選択番号 (チャンネル番号) をダイヤルします。
 - ・選択番号 : 20 ～ 49
 - ・本装置は選択された情報メッセージを冒頭から送出します。
3. 情報メッセージが聞こえている間に、他の選択番号をダイヤルすると、その情報メッセージを聞くことができます。
 - ・「10」をダイヤルすると、もう一度、案内メッセージを聞くことができます。
 - ・メッセージ終了後、約 6 秒間に選択番号をダイヤルしなかったときは、終了メッセージが聞こえた後、電話が切れます。

ワンポイント

- マイクから録音するときは、約 10cm の位置で録音してください。
- CD ラジカセなどから録音するときは、約 0dBm の入力レベルで録音してください。本装置には、録音レベルの調節はありません。
- 本装置は、再生の音量調節はできません。イヤホン (市販品) をイヤホンジャックへ接続すると、スピーカに代わって、イヤホンから再生音を聞くことができます。

2. 基本モードの録音と再生

■ 録音のしかた

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、**【2. 録音・消去】**を選ぶ。

01年5月30日(水) 13:25	1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイム登録	
3. 再生	6. 初期登録	

- ・【2. 録音・消去】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。

*録音・消去*残り残 17分27秒
録音チャンネル: 1ch 録音情報
入力チャンネル: 1-99, 全消去: 0

- ・「録音チャンネル番号」の入力画面になります。

3 **10KEY**を押して、「録音チャンネル番号」を入力する。

*録音・消去*残り残 17分27秒
録音チャンネル: 1ch 録音情報
入力チャンネル: 1-99, 全消去: 0

- ・表示例は、ch1への録音例です。

4 **セット**を押す。

*録音・消去*残り残 17分27秒
録音チャンネル: 1ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間: 0分00秒

- ・録音画面になります。

5 **セット**を押す。

*録音・消去*残り残 17分17秒
録音チャンネル: 1ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間: 0分10秒

- ・録音が始まります。
- ・録音時間、残り時間が表示されます。

終了を押すと、録音が終わります。

- ・手順3へ戻り、続けて、他のチャンネルへ録音ができます。

6 録音を終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日(水) 13:25	1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイム登録	
3. 再生	6. 初期登録	

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■ CD ラジカセなどから録音するとき

1. あらかじめCDラジカセなどへ、メッセージを録音しておきます。
2. 手順1から順次操作し、手順5の前に、CDラジカセなどを再生します。
 - ・スピーカから再生音がモニターできます。
3. メッセージの冒頭で、手順5へ進みます。

■ 消去のしかた

録音済みのメッセージの消去は、「チャンネルごとに消去する」と「全チャンネルを一括して消去する」の二通りの方法があります。

(1) チャンネルごとに消去する

1. 左記の「録音のしかた」で、手順3のとき、消去したいチャンネル番号を入力する。
2. 手順5で、**クリア**を押す。
 - ・【1chを消去します: YES/NO】の確認画面が表示されます。
3. **矢印**を押して、**【YES】**を選び、**セット**を押す。
 - ・入力したチャンネル番号のメッセージは、消去されます。
 - ・画面は手順2へ戻り、録音または他のチャンネルの消去ができます。
 - ・【NO】を選んだときは、メッセージは消去されず、手順2へ戻ります。

(2) 全チャンネルを一括消去する

1. 手順3のとき、「0」を入力する。
2. **セット**を押す。
 - ・【全chを消去します: YES/NO】の確認画面が表示されます。
3. **矢印**を押して、**【YES】**を選び、**セット**を押す。
 - ・全チャンネルのメッセージは、消去されます。
 - ・画面は手順2へ戻り、録音ができます。
 - ・【NO】を選んだときは、メッセージは消去されず手順2へ戻ります。



ワンポイント

- 録音のやり直しは、最初から行ってください。
- 手順5のとき、マイクやCDラジカセなどが接続されていないときは、「ピッ・ピッ・・・」という音が聞こえ、画面下段に、【音源を接続して下さい】と表示されます。
- 手順4のとき、入力したチャンネル番号が録音済みのときは、その録音時間が表示されます。そのまま録音すると、古いメッセージは消去され、新しいメッセージに吹き替えられます。
- 手順5のとき、メモリーの残り時間がないときは、「ピッ・ピッ・・・」という音が聞こえ、録音できません。

■ 再生のしかた

操作メニュー画面のとき、
矢印を押して、【3. 再生】を
1 選ぶ。

・【3. 再生】が反転表示になります。

01年5月30日(水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ-登録
3. 再生	6. 初期登録

セットを押す。

2

・「再生チャンネル番号」の入力画面になります。

* 再生 *	残り残10分53秒
再生チャンネル: ■ ch	録音情報

10KEYを押して、「再生チャンネル番号」を入力する。

3

・表示例は、ch1の再生例です。

* 再生 *	残り残10分53秒
再生チャンネル: 1 ch	録音情報

セットを押す。
 再生が開始し、スピーカから再生音が聞こえます。

4

・再生が終わると、手順3へ戻り、続けて、他のチャンネルの再生ができます。
 ・「録音済時間」は1秒単位で減算表示します。また、「経過時間」は、1秒単位で加算表示します。

* 再生 *	残り残10分53秒
再生チャンネル: 1ch	
録音済時間: 3分53秒	
経過時間: 0分21秒	

再生が終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

5

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

01年5月30日(水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマ-登録
3. 再生	6. 初期登録

録音済みのチャンネルを確認するには

- 手順2の操作のあと、**矢印**を押し、【録音情報】を選ぶ。
- セット**を押すと、録音済みチャンネルが反転表示します。

* 録音チャンネル情報 1/4 *	▼	* 録音チャンネル情報 2/4 *	◆
1 2 3 4 5 6 7 8 9		30 31 32 33 34 35 36 37 38 39	
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19		40 41 42 43 44 45 46 47 48 49	
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29		50 51 52 53 54 55 56 57 58 59	
* 録音チャンネル情報 3/4 *	◆	* 録音チャンネル情報 4/4 *	▲
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69		90 91 92 93 94 95 96 97 98 99	
70 71 72 73 74 75 76 77 78 79			
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89			

ワンポイント

- 再生中に再生を中止したいときは、**終了**を押してください。再生を中止し、手順2の画面に戻ります。

3. 選択モードの録音と再生

◎ 選択モードでお使いのときは、「案内メッセージ」・「情報メッセージ」・「終了メッセージ」のメッセージ録音が必要です。

■ 案内／終了メッセージの録音のしかた

操作メニュー画面のとき、
1 **[矢印]**を押して、**【1. 録音・消去】**を選ぶ。

01年5月30日(水) 13:25
1. 録音・消去 4. タイム登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

- ・【1. 録音・消去】が反転表示になります。

2 **[セット]**を押す。
[矢印]を押して、「1. 案内メッセージ」または「3. 終了メッセージ」を選ぶ。

録音メッセージ選択
1. 案内メッセージ
2. 情報メッセージ
3. 終了メッセージ

- ・**[セット]**を押したとき、**【録音メッセージ選択】**の画面になります。

3 **[セット]**を押す。

*録音・消去*残り残 17分27秒
案内メッセージ:10ch
セット:開始 クリア:消去
録音時間:0分00秒

- ・案内メッセージまたは終了メッセージの録音画面になります。

*録音・消去*残り残 17分27秒
終了メッセージ:90ch
セット:開始 クリア:消去
録音時間:0分00秒

4 **[終了]**を押すと、録音が終わります。

*録音・消去*残り残 17分17秒
案内メッセージ:10ch
セット:開始 クリア:消去
録音時間:0分10秒

- ・録音が始まります。
- ・録音時間、残り時間が表示されます。

5 **[終了]**を押すと、録音が終わります。

*録音・消去*残り残 17分17秒
終了メッセージ:90ch
セット:開始 クリア:消去
録音時間:0分10秒

- ・手順2へ戻り、続けて、他のメッセージの録音ができます。

録音を終わるときは**【終了】**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日(水) 13:25
1. 録音・消去 4. タイム登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■ CD ラジカセなどから録音するとき

1. あらかじめCDラジカセなどへ、メッセージを録音しておきます。
2. 手順1から順次操作し、手順4の前に、CDラジカセなどを再生します。
 - ・スピーカから再生音がモニターできます。
3. メッセージの冒頭で、手順4へ進みます。

■ 情報メッセージの録音のしかた

操作メニュー画面のとき、
1 **[矢印]**を押して、**【1. 録音・消去】**を選ぶ。

01年5月30日(水) 13:25
1. 録音・消去 4. タイム登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

- ・【1. 録音・消去】が反転表示になります。

2 **[セット]**を押す。
[矢印]を押して、「2. 情報メッセージ」を選ぶ。

録音メッセージ選択
1. 案内メッセージ
2. 情報メッセージ
3. 終了メッセージ

- ・**[セット]**を押したとき、**【録音メッセージ選択】**の画面になります。

3 **[セット]**を押す。
[10KEY]を押して、「録音チャンネル番号」を入力する。

*録音・消去*残り残 17分27秒
情報メッセージ:20ch 録音情報
入力チャンネル:20-49

- ・**[セット]**を押したとき、「情報メッセージch」の入力画面になります。
- ・表示例は、ch20への録音例です。

4 **[セット]**を押す。

*録音・消去*残り残 17分27秒
情報メッセージ:20ch
セット:開始 クリア:消去
録音時間:0分00秒

- ・情報メッセージの録音画面になります。

5 **[セット]**を押す。

*録音・消去*残り残 17分17秒
情報メッセージ:20ch
セット:開始 クリア:消去
録音時間:0分10秒

- ・録音が始まります。
- ・録音時間、残り時間が表示されます。

6 **【終了】**を押すと、録音が終わります。

- ・手順3へ戻り、続けて、他のメッセージの録音ができます。

録音を終わるときは**【終了】**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日(水) 13:25
1. 録音・消去 4. タイム登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■ CD ラジカセなどから録音するとき

1. あらかじめラジカセなどへ、メッセージを録音しておきます。
2. 手順1から順次操作し、手順5の前に、ラジカセなどを再生します。
 - ・スピーカから再生音がモニターできます。
3. メッセージの冒頭で、手順5へ進みます。

情報メッセージ

録音済みのチャンネルを確認するには

- 手順 3 の操作のあと、**[矢印]** を押し、**【録音情報】** を選ぶ。
- [セット]** を押すと、録音済みチャンネルが反転表示します。

* 録音チャンネル情報 *															
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49		

ワンポイント

- 録音のやり直しは、最初から行ってください。
- 案内／終了メッセージのときは手順 4、また、情報メッセージのときは手順 5 のとき、マイクやラジカセなどが接続されていないときは、「ピッ・ピッ…」という音が聞こえ、画面下段に、**【音源を接続して下さい】**と表示されます。
- 案内／終了メッセージのときは手順 3、また、情報メッセージのときは手順 4 のとき、入力したチャンネル番号が録音済みのときは、その録音時間が表示されます。そのまま録音すると、古いメッセージは消去され、新しいメッセージに吹き替えられます。
- 案内／終了メッセージのときは手順 4、また、情報メッセージのときは手順 5 のとき、メモリーの残り時間がないときは、「ピッ・ピッ…」という音が聞こえ、録音できません。

案内／終了メッセージの消去のしかた

- 前ページの「案内／終了メッセージの録音のしかた」で手順 4 のとき、**[クリア]** を押す。
 - ・ **【10ch を消去します: YES/NO】** または **【90ch を消去します: YES/NO】** の確認画面が表示されます。
- [矢印]** を押して、**【YES】** を選び、**[セット]** を押す。
 - ・ 案内または終了メッセージが、消去されます。
 - ・ 消去が終わると、画面は手順 2 へ戻ります。
 - ・ **【NO】** を選んだときは、メッセージは消去されず、手順 2 へ戻ります。

情報メッセージの消去のしかた

- 前ページの「情報メッセージの録音のしかた」で、手順 5 で、**[クリア]** を押す。
 - ・ **【20ch を消去します: YES/NO】** の確認画面が表示されます。
- [矢印]** を押して、**【YES】** を選び、**[セット]** を押す。
 - ・ 指定されたチャンネルのメッセージが、消去されます。
 - ・ 画面は手順 3 へ戻ります。
 - ・ **【NO】** を選んだときは、メッセージは消去されず、手順 3 へ戻ります。

■ 再生のしかた

(1) 案内／終了メッセージの再生

- 操作メニュー画面のとき、**[矢印]** を押して、**【2. 再生】** を選ぶ。
 - ・ **【2. 再生】** が反転表示になります。
- [セット]** を押す。
 - ・ **【再生メッセージ選択】** の画面になります。
- [矢印]** を押して、「1. 案内メッセージ」または「3. 終了メッセージ」を選ぶ。
- [セット]** を押すと、再生が開始します。
 - ・ 再生が終わると、手順 2 へ戻り、続けて、他のメッセージの再生ができます。
 - ・ 「録音済時間」は 1 秒単位で減算表示します。また、「経過時間」は、1 秒単位で加算表示します。

案内メッセージ

* 再生 *	残り残 10 分 53 秒
案内メッセージ :	10ch
録音済時間 :	3 分 53 秒
経過時間 :	0 分 21 秒

終了メッセージ

* 再生 *	残り残 10 分 53 秒
終了メッセージ :	90ch
録音済時間 :	3 分 53 秒
経過時間 :	0 分 21 秒

(2) 情報メッセージの再生

- 操作メニュー画面のとき、**[矢印]** を押して、**【2. 再生】** を選ぶ。
 - ・ **【2. 再生】** が反転表示になります。
- [セット]** を押す。
 - ・ **【再生メッセージ選択】** の画面になります。
- [矢印]** を押して、「2. 情報メッセージ」を選ぶ。
- [セット]** を押す。
 - ・ 「再生チャンネル番号」の入力画面になります。
- [10KEY]** を押して、「再生チャンネル番号」を入力する。
- [セット]** を押すと、再生が開始します。
 - ・ 再生が終わると手順 3 へ戻り、続けて他のチャンネルの再生ができます。
 - ・ 「録音済時間」は 1 秒単位で減算表示します。また、「経過時間」は、1 秒単位で加算表示します。

情報メッセージ

* 再生 *	残り残 10 分 53 秒
情報チャンネル :	20ch
録音済時間 :	3 分 53 秒
経過時間 :	0 分 21 秒

ワンポイント

- 再生中に再生を中止したいときは、**[終了]** を押してください。

4. 外部音源モードの録音と再生

◎ 外部音源を送出する前に送出する案内メッセージを録音します。

■ 録音のしかた

操作メニュー画面のとき、
1 **〔矢印〕**を押して、**【1. 録音・消去】**を選ぶ。

01年5月30日(水) 13:25
1. 録音・消去 4. タイム登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

- ・【1. 録音・消去】が反転表示になります。

2 **〔セット〕**を押す。

*録音・消去*が残り 17分 27秒
案内メッセージ: 10ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間: 0分 00秒

- ・案内メッセージの録音画面になります。

〔セット〕を押す。

*録音・消去*が残り 17分 17秒
案内メッセージ: 10ch
セット: 開始 クリア: 消去
録音時間: 0分 10秒

- ・録音が始まります。
- ・録音時間、残り時間が表示されます。

3 **〔終了〕**を押すと、録音が終わります。

- ・操作メニュー画面に戻ります。

■ CD ラジカセなどから録音するとき

1. あらかじめ CD ラジカセなどへ、メッセージを録音しておきます。
2. 手順 1 から順次操作し、手順 3 の前に、CD ラジカセなどを再生します。
 - ・スピーカから再生音がモニターできます。
3. メッセージの冒頭で、手順 3 へ進みます。

■ 消去のしかた

1. 上記「録音のしかた」の手順 3 で、**〔クリア〕**を押す。
 - ・【10ch を消去します: YES/NO】の確認画面が表示されます。
2. **〔矢印〕**を押して、**【YES】**を選び、**〔セット〕**を押す。
 - ・案内メッセージが、消去されます。
 - ・消去が終わると、画面は手順 1 へ戻ります。
 - ・【NO】を選んだときは、メッセージは消去されず、手順 2 へ戻ります。

■ 再生のしかた

案内メッセージまたはテープジャックへ接続した外部音源を再生して確認します。

(1) 案内メッセージの再生

1. 操作メニュー画面のとき、**〔矢印〕**を押して、**【2. 再生】**を選ぶ。
 - ・【2. 再生】が反転表示になります。
2. **〔セット〕**を押す。
 - ・「案内メッセージ／外部音源」の選択画面になります。
3. **〔矢印〕**を押して、「案内メッセージ」を選ぶ。
〔セット〕を押すと、再生が始まります。
 - ・再生が終わると、手順 2 へ戻ります。
 - ・「録音済時間」は 1 秒単位で減算表示します。また、「経過時間」は、1 秒単位で加算表示します。

(2) 外部音源の再生

1. 操作メニュー画面のとき、**〔矢印〕**を押して、**【2. 再生】**を選ぶ。
 - ・【2. 再生】が反転表示になります。
2. **〔セット〕**を押す。
 - ・「案内メッセージ／外部音源」の選択画面になります。
3. **〔矢印〕**を押して、「外部音源」を選ぶ。
〔セット〕を押すと、再生が始まります。
〔終了〕を押すと、再生が終わり、手順 2 へ戻ります。



ワンポイント

- 録音のやり直しは、最初から行ってください。
- 手順 3 のとき、マイクや CD ラジカセなどが接続されていないときは、「ピッ・ピッ …」という音が聞こえ、画面下段に、【音源を接続して下さい】と表示されます。
- 案内メッセージが録音済みのときは、その録音時間が表示されます。
そのまま録音すると、古いメッセージは消去され、新しいメッセージに吹き替えられます。

プログラムタイマーを登録する

1. プログラムタイマーについて

次の手順で、1 年間の応答計画をたてます。

プログラム名	登録内容
1 日パターン	● 1 年間に必要な 1 日パターンを計画します。最大 15 パターン(基本モードでお使いのときは、グループ共通)まで作成できます。 ● 登録内容は： ・基本モードの場合は、何時何分にどのチャンネルのメッセージで応答し、また、何時何分に応答停止にするかを時系列で登録します。 ・選択/外部音源モードの場合は、何時何分に応答にセットし、何時何分に応答停止にするかを時系列で登録します。 ● この 1 日パターンを、以下の各プログラムに割り付けることで、そのプログラムに従って自動応答します。
週間プログラム	● 1 週間の各曜日に、どの「1 日パターン」で応答させるか、を登録します。年間を通じた自動応答の基本になります。
変則プログラム	● 第何回目の何曜日に、どの「1 日パターン」で応答させるか、を登録します。 例えば、第 1 と第 2 の土曜日は休日のため、毎週、他の土曜日とは別の 1 日パターンで応答させるときに登録します。
祝日プログラム	● 国民の祝日には、どの「1 日パターン」で応答させるか、を登録します。 ● 国民の祝日以外に、月日の固定日で 11 日分、変動日で 10 日分を祝日として追加登録することができます。(変動日とは、「何月の第何回目の何曜日」は祝日として応答します。)
休日プログラム	● 祝日とは別に、特定日または特定期間を休日として、最大 50 ステップ分、どの「1 日パターン」で応答させるか、を登録します。 例えば、12 月 28 日～12 月 31 日、1 月 1 日～1 月 5 日は、正月休みとして、祝日以外の休日として登録することができます。 ● 休日プログラムは、登録した 1 日パターンで、毎年、繰り返し応答します。
臨時プログラム	● 祝日や休日とは別に臨時休業などにより、特定日または特定期間を臨時として、最大 50 ステップ分、どの「1 日パターン」で応答させるか、を登録します。 ● 特定日または特定期間が過ぎれば、以後、元のプログラムに戻って、応答します。

優先度について

プログラムには、優先度があります。その日が、他のプログラムに該当しているときは、優先度の高いプログラムで応答します。

優先度は高い順に、次の順で応答します。

①臨時プログラム→②休日プログラム→③祝日プログラム→④変則プログラム→⑤週間プログラム

ワンポイント

- 休日プログラム・臨時プログラムは合計で最大 50 ステップ登録できます。
- パターン番号とステップの動作イメージについては、P.72 の記入例を参照してください。
- 各種プログラムの動作計画については、P.71 ～ P.76 のプログラム表を活用することを推奨します。

2. 1日パターンの登録

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【5. タイマー登録】を選ぶ。

01年5月30日（水）13:25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. **タイマー登録**
3. 再生 6. 初期登録

・【5. タイマー登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【1.1 日パターン】を選ぶ。

タイマー登録メニュー
1. **1日パターン** 4. 祝日プログラム
2. 週間プログラム 5. 休日プログラム
3. 変則プログラム 6. 臨時プログラム

・**セット**を押したとき、【タイマー登録メニュー】の選択画面になります。

3 **セット**を押す。

* 1日パターン* No **■** ステップ 残
切替時刻 前 ch 後 ch
:
:

・「パターンNo」の入力画面になります。

4 **10KEY**を押して、「パターンNo」を入力する。
セットを押す。

* 1日パターン* No 1 ステップ 残 100
切替時刻 前 ch 後 ch ▼
1 **■** :
2 :

・ステップ1の「切替時刻」の入力画面になります。

5 **10KEY**を押して、「切替時刻」の「時」を入力し、**セット**を押す。
同様に、「分」→「前 ch No」→「後 ch No」の順に登録する。

* 1日パターン* No 1 ステップ 残 99
切替時刻 前 ch 後 ch ▼
1 9:00 1 2
2 **■**

・応答停止にするときは、前 ch に、「0」を入力します。
・次のステップの入力画面になります。

6 手順5を繰り返して、登録が終わるとき、**終了**を押す。

* 1日パターン* No **■** ステップ 残
切替時刻 前 ch 後 ch
:
:

・手順3へ戻り、次のパターンの登録ができます。

7 登録が終わるときは **終了** を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日（水）13:25
1. **ch 切替** 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマー登録
3. 再生 6. 初期登録

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択／外部音源モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【4. タイマー登録】を選ぶ。

01年5月30日（水）13:25
1. 録音・消去 4. **タイマー登録**
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

・【4. タイマー登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【1.1 日パターン】を選ぶ。

タイマー登録メニュー
1. **1日パターン** 4. 祝日プログラム
2. 週間プログラム 5. 休日プログラム
3. 変則プログラム 6. 臨時プログラム

・**セット**を押したとき、【タイマー登録メニュー】の選択画面になります。

3 **セット**を押す。

* 1日パターン* No **■** ステップ 残
切替時刻 前 ch 後 ch
:
:

・「パターンNo」の入力画面になります。

4 **10KEY**を押して、「パターンNo」を入力する。
セットを押す。

* 1日パターン* No 1 ステップ 残 100
切替時刻 前 ch 後 ch ▼
1 **■** :
2 :

・ステップ1の「切替時刻」の入力画面になります。

5 **10KEY**を押して、「切替時刻」の「時」を入力し、**セット**を押す。
10KEYを押して、「切替時刻」の「分」を入力し、**セット**を押す。
矢印を押して、応答の【入／切】を選び、**セット**を押す。

* 1日パターン* No 1 ステップ 残 99
切替時刻 前 ch 後 ch ▼
1 9:00 入 [切]
2 **■** 入 切

・次のステップの入力画面になります。

6 手順5を繰り返して、登録が終わるとき、**終了**を押す。

* 1日パターン* No **■** ステップ 残
切替時刻 前 ch 後 ch
:
:

・手順3へ戻り、次のパターンの登録ができます。

7 登録が終わるときは **終了** を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日（水）13:25
1. **録音・消去** 4. タイマー登録
2. 再生 5. 初期登録
3. 着信表示

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。

■1ステップの登録を削除するには

1. 矢印 を押して、削除したいステップの「切替時刻」または応答の「入／切」を選ぶ。
2. **クリア**を押す。
3. **クリア**を押す。
4. **セット**を押す。
・ 1ステップ分の登録値が削除されます。

■ステップを追加するには

最終ステップに、手順 1 から追加登録します。
自動的に、時刻順に並べ替えます。

■1日パターンについて

1日パターンに、何時何分にどのチャンネルのメッセージで応答し、また何時何分に応答停止するかを登録します。
登録した1日パターンを、各曜日・祝日に割り当てて本装置の動作を決めます。 以下は1日パターンの登録例です。

◆業務終了案内などで使用するとき

動作の例：



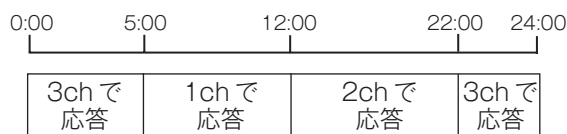
上記の内容で作成したパターン：

1日パターン No1			
切替時刻	前 ch	後 ch	コメント
00:00	1		0時から1chで応答
08:45	0		8時45分に停止
17:30	2	3	17時30分から2ch+3chで応答

翌日の0:00からは、翌日に登録してあるパターンにしたがって動作します。

◆テレホンサービスなどで使用するとき

動作の例：



上記の内容で作成したパターン：

1日パターン No1			
切替時刻	前 ch	後 ch	コメント
00:00	3		0時から3chで応答
05:00	1		5時から1chで応答
12:00	2		12時から2chで応答
22:00	3		22時から3chで応答

翌日の0:00からは、翌日に登録してあるパターンにしたがって動作します。

ワンポイント

- 時刻の登録は、24時間制で、入力してください。
- 1日パターンは、最大15種類まで登録できます。
- ステップ数は、1日パターン(15パターン)の合計で、100ステップまで登録できます。
100ステップに達すると、画面の最下段の右側に【FULL】と表示されます。
- 基本モードでお使いのときは、回線を最大5グループに分け、グループごとに異なるプログラムタイマーで動作させることができます。
この1日パターンの登録で作成したパターンを、次ページ「週間プログラムの登録」以降の登録でグループごとに登録できます。

3. 週間プログラムの登録

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【5. タイマー登録】を選ぶ。

01年5月30日 (水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマー登録
3. 再生	6. 初期登録

- ・【5. タイマー登録】が反転表示になります。

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【2. 週間プログラム】を選ぶ。

* タイマー登録メニュー *	
1. 1日パターン	4. 祝日プログラム
2. 週間プログラム	5. 休日プログラム
3. 変則プログラム	6. 臨時プログラム

- ・**セット**を押したとき、【タイマー登録メニュー】の選択画面になります。

3 **セット**を押す。

* 週間プログラム * G No 1	
曜: 日 月 火 水 木 金 土	
P:	

- ・「グループNo」の入力画面になります。

4 **10KEY**を押して、「グループNo」を入力する。
セットを押す。

* 週間プログラム * G No 1	
曜: 日 月 火 水 木 金 土	
P: 停 停 停 停 停 停 停	

- ・日曜日の「1日パターンNo」の入力画面になります。

5 **10KEY**を押して、日曜日の「1日パターンNo」を入力し、**セット**を押す。

* 週間プログラム * G No 1	
曜: 日 月 火 水 木 金 土	
P: 1 停 停 停 停 停 停	

5 同様に、「月→火→水→木→金→土」の順に登録する。

* 週間プログラム * G No 1	
曜: 日 月 火 水 木 金 土	
P:	

- ・手順4へ戻り、次のグループの登録ができます。

6 登録を終わるときは**終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日 (水) 13:25	
1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイマー登録
3. 再生	6. 初期登録

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択／外部音源モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【4. タイマー登録】を選び、**セット**を押す。
*【タイマー登録メニュー】の選択画面になります。
2. **矢印**を押して、【2. 週間プログラム】を選び、**セット**を押す。
*日曜日の「1日パターンNo」の入力画面になります。
3. 以下、左記「■登録のしかた（基本モード）」の手順5～6と同じ操作をします。

■修正するには

手順1から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。
正しい「パターンNo」または「0(停止)」を入力してください。



ワンポイント

- 応答を停止するときは、「0」を入力します。その曜日は、【停】と表示されます。
- 基本モードでお使いのときは、グループごとに週間プログラムを登録できます。

4. 変則プログラムの登録

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、**【5. タイマー登録】**を選ぶ。

・ **【5. タイマー登録】**が反転表示になります。

01年5月30日(水) 13:25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. **タイマー登録**
3. 再生 6. 初期登録

2 **セット**を押す。
矢印を押して、**【3. 変則プログラム】**を選ぶ。

・ **セット**を押したとき、**【タイマー登録メニュー】**の選択画面になります。

タイマー登録メニュー
1. 1 日パターン 4. 祝日プログラム
2. 週間プログラム 5. 休日プログラム
3. **変則プログラム** 6. 臨時プログラム

3 **セット**を押す。

・ 「グループ No」の入力画面になります。

* 変則プログラム1/3 * G No 1 ▼
曜: 日 月 火 水 木 金 土
1:
2:

4 **10KEY**を押して、「グループ No」を入力する。
セットを押す。

・ 第1回目の日曜日の「1 日パターン No」の入力画面になります。

* 変則プログラム1/3 * G No 1 ▼
曜: 日 月 火 水 木 金 土
1: **■**
2:

5 **矢印**を押して、何回目の曜日を選ぶ。
10KEYを押して、「1 日パターン No」を入力し、**セット**を押す。

同様に、他の何回目の曜日へ「1 日パターン No」を登録する。

必要な登録が終わると、**終了**を押す。

・ 手順4に戻り、次のグループの登録ができます。

* 変則プログラム1/3 * G No 1 ▼
曜: 日 月 火 水 木 金 土
1:
2:

6 登録が終わるときは **終了**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

・ 1回押すごとに、前画面に戻ります。

01年5月30日(水) 13:25
1. **ch 切替** 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマー登録
3. 再生 6. 初期登録

■登録のしかた（選択／外部音源モード）

- 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、**【4. タイマー登録】**を選び、**セット**を押す。
・ **【タイマー登録メニュー】**の選択画面になります。
- 矢印**を押して、**【3. 変則プログラム】**を選び、**セット**を押す。
・ 日曜日の「1 日パターン No」の入力画面になります。
- 以下、左記「■登録のしかた（基本モード）」の手順5～6と同じ操作をします。

■修正するには

手順1から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア**を押し、**セット**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。

ワンポイント

- 応答を停止するときは、「0」を入力します。その曜日は、**【停】**と表示されます。
- 基本モードでお使いのときは、グループごとに変則プログラムを登録できます。

5. 祝日プログラムの登録

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **[矢印]**を押して、**【5. タイマー登録】**を選ぶ。

01年5月30日（水）13:25			
1. ch 切替	4. 着信表示		
2. 録音・消去	5. タイマー登録		
3. 再生	6. 初期登録		

- ・【5. タイマー登録】が反転表示になります。

2 **[セット]**を押す。
[矢印]を押して、**【4. 祝日プログラム】**を選ぶ。

タイマー登録メニュー			
1. 1日パターン	4. 祝日プログラム		
2. 週間プログラム	5. 休日プログラム		
3. 変則プログラム	6. 臨時プログラム		

- ・**[セット]**を押したとき、**【タイマー登録メニュー】**の選択画面になります。

3 **[セット]**を押す。

* 祝日プログラム 1/18 * G No 1 ▼			
日付	祝日	振休	日祝
1月1日:			
成人の日:	※	※	

- ・「グループNo」の入力画面になります。

4 **[10KEY]**を押して、「グループNo」を入力する。
[セット]を押す。

* 祝日プログラム 1/18 * G No 1 ▼			
日付	祝日	振休	日祝
1月1日:	■		
成人の日:	※	※	

- ・「1月1日」の入力画面になります。

●祝日の登録

1 **[10KEY]**を押して、1月1日の祝日の「1日パターンNo」を入力し、**[セット]**を押す。

* 祝日プログラム 1/18 * G No 1 ▼			
日付	祝日	振休	日祝
1月1日:	■		
成人の日:	※	※	

- 2** ①と同様に、「振休→日祝」の順に登録する。

- 3** ①～②を繰り返して、「成人の日」以下の祝日登録する。

5 ◆登録内容

祝日：該当の祝日当日に運用するパターン番号

振休：該当の祝日が日曜日になったとき、翌日の振り替え休日に運用したいパターン番号

日祝：該当の祝日が日曜日になったとき、本来の祝日とは異なったパターンで運用したいときに、そのパターン番号

- ・「祝日」の登録画面は、1/18～8/18まであります。

●固定日の登録

- 1** **[10KEY]**を押して、「月」を入力し、**[セット]**を押す。

- 2** **[10KEY]**を押して、「日」を入力し、**[セット]**を押す。

- 3** **[10KEY]**を押して、祝日の「1日パターンNo」を入力し、**[セット]**を押す。

- 4** ③と同様に、「振休→日祝」の順に登録する。

- 5** ①から④繰り返して、他の固定日を登録する。

- ・「固定日」の登録画面は、8/18～13/18まであります。

●変動日の登録

- 1** **[10KEY]**を押して、「月」を入力し、**[セット]**を押す。

- 2** **[10KEY]**を押して、「何回目」を入力し、**[セット]**を押す。

- 3** **[10KEY]**を押して、「曜日」を入力し、**[セット]**を押す。

- 4** **[10KEY]**を押して、祝日の「1日パターンNo」を入力し、**[セット]**を押す。

- 5** ①から④繰り返して、他の変動日を登録する。

- ・「変動日」の登録画面は、14/18～18/18まであります。

- 登録が終わるときは**[終了]**を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

- ・1回押すごとに、前画面に戻ります。

* 祝日プログラム 8/18 * G No 1 ▼			
日付	祝日	振休	日祝
12月23日:	3	3	3
月	日:		

* 祝日プログラム 14/18 * G No 1 ▼			
変動日	祝日		
月	回	曜:	
月	回	曜:	

01年5月30日（水）13:25			
1. ch 切替	4. 着信表示		
2. 録音・消去	5. タイマー登録		
3. 再生	6. 初期登録		

■登録のしかた（選択／外部音源モード）

1. 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、**【4. タイマー登録】**を選び、**（セット）**を押す。
・ **【タイマー登録メニュー】**の選択画面になります。
2. **（矢印）**を押して、**【4. 祝日プログラム】**を選び、**（セット）**を押す。
・ 1月1日で、祝日の「1日パターンNo」の入力画面になります。
3. 以下、左記「■登録のしかた（基本モード）」の手順5～8と同じ操作をします。

■修正するには

手順1から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**（クリア）**を押し、**（セット）**を押す。
入力された登録値は、空欄となります。

ワンポイント

- 応答を停止するときは、「0」を入力します。その祝日は、**【停】**と表示されます。
- 基本モードでお使いのときは、グループごとに祝日プログラムを登録できます。
- 振休（振替休日）：
祝日が日曜日と重なった場合、翌日の月曜日をいいます。
- 日祝（日曜祝日）：
祝日が日曜日と重なった祝日をいいます。
- 固定日：
・ 固定日は、11日分登録できます。
・ 国民の祝日が、固定日で追加になったり、祝日として応答させるときに登録します。
- 変動日：
・ 変動日は、10日分登録できます。
・ 国民の祝日が、変動日で追加になったり、祝日として応答させるときに登録します。
- 曜日は、次のように、数値に置き換えて入力します。
月→1
火→2
水→3
木→4
金→5
土→6
日→7
- 春分の日および秋分の日は、年によって変わりますが、自動的に変更します。
- ハッピーマンデーは、自動的に計算します：
成人の日（1月第2月曜日）、海の日（7月第3月曜日）、敬老の日（9月第3月曜日）、体育の日（10月第2月曜日）
- 振休（振替休日）を月曜日以外で使用する場合は、「祝日プログラムの登録」での登録の他に、以下の日付けについてもそれぞれの年になったときに「臨時プログラムの登録」で、振休（振替休日）のパターン番号を登録してください。

月曜日以外の振替休日追加日一覧	
追加登録を行う年	臨時プログラム登録する月日
2014年	5月6日
2015年	5月6日 9月22日
2020年	5月6日
2025年	5月6日

6. 休日プログラムの登録

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印** を押して、【5. タイマー登録】を選ぶ。

・【5. タイマー登録】が反転表示になります。

01年5月30日 (水) 13:25
1. ch 切替 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. **タイマー登録**
3. 再生 6. 初期登録

セット を押す。
2 **矢印** を押して、【5. 休日プログラム】を選ぶ。

・**セット** を押したとき、【タイマー登録メニュー】の選択画面になります。

タイマー登録メニュー
1.1 日パター 4. 祝日プログラム
2. 週間プログラム 5. **休日プログラム**
3. 変則プログラム 6. 臨時プログラム

セット を押す。
3

・「グループ No」の入力画面になります。

* 休日プログラム * G No **1** ▼
日付 P No
1. 月 日 ~ 月 日:
2. 月 日 ~ 月 日:

10KEY を押して、「グループ No」を入力する。
4 **セット** を押す。

・「月」の入力画面になります。

* 休日プログラム 1/1 * G No 1 ▼
日付 P No
1. **1** 月 日 ~ 月 日:
2. 月 日 ~ 月 日:

① **10KEY** を押して、「月」を入力し、**セット** を押す。
② **10KEY** を押して、「日」を入力し、**セット** を押す。
③ 期間のときは、終わりの月日を、①→②の順に登録する。
5 1 日だけのときは、**セット** を押す。
④ **10KEY** を押して、「1 日パターン No」を入力し、**セット** を押す。
⑤ ①～④を繰り返して、他の休日を登録する。

* 休日プログラム 1/1 * G No 1 ▼
日付 P No
1. 1 月 2 日 ~ 1 月 5 日:
2. 3 月 15 日 ~ 3 月 15 日: **3**

登録を終わるときは **終了** を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。
6

・1 回押すごとに、前画面に戻ります。

01年5月30日 (水) 13:25
1. **ch 切替** 4. 着信表示
2. 録音・消去 5. タイマー登録
3. 再生 6. 初期登録

■登録のしかた（選択／外部音源モード）

- 操作メニュー画面のとき、**矢印** を押して、【4. タイマー登録】を選び、**セット** を押す。
・【タイマー登録メニュー】の選択画面になります。
- 矢印** を押して、【5. 休日プログラム】を選び、**セット** を押す。
・「月」の入力画面になります。
- 以下、左記「■登録のしかた（基本モード）」の手順 5～6 と同じ操作をします。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア** を押す。

■1 ステップの登録を削除するには

- 矢印** を押して削除したいステップを選ぶ。
- クリア**、**クリア**、**セット** の順に押す。

ワンポイント

- 応答を停止するときには、「0」を入力します。その休日は、【停】と表示されます。
- 基本モードでお使いのときは、グループごとに休日プログラムを登録できます。
- 休日は：
 - ・休日および臨時の合計で、50 ステップ分まで登録できます。
 - ・創立記念日など、毎年、繰り返して休日として応答させるときに登録します。
- 期間を指定するとき、年をまたいで指定することはできません。たとえば、12 月 29 日から 1 月 3 日までを指定するときは、
 - ① 12 月 29 日から 12 月 31 日
 - ② 1 月 1 日から 1 月 3 日
 の 2 つに分けて登録します。

7. 臨時プログラムの登録

■登録のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印** を押して、【5. タイマー登録】を選ぶ。

・【5. タイマー登録】が反転表示になります。

セット を押す。
2 **矢印** を押して、【6. 臨時プログラム】を選ぶ。

・**セット** を押したとき、【タイマー登録メニュー】の選択画面になります。

セット を押す。
3

・「グループNo」の入力画面になります。

10KEY を押して、「グループNo」を入力する。
4 **セット** を押す。

・「月」の入力画面になります。

① **10KEY** を押して、「月」を入力し、**セット** を押す。
② **10KEY** を押して、「日」を入力し、**セット** を押す。

③ 期間のときは、終わりの月日を、①→②の順に登録する。

1 日だけのときは、**セット** を押す。

④ **10KEY** を押して、「1 日パターン No」を入力し、**セット** を押す。

⑤ ①～④を繰り返して、他の臨時を登録する。

登録が終わるときは **終了** を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

・1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■登録のしかた（選択／外部音源モード）

- 操作メニュー画面のとき、**矢印** を押して、【4. タイマー登録】を選び、**セット** を押す。
・【タイマー登録メニュー】の選択画面になります。
- 矢印** を押して、【6. 臨時プログラム】を選び、**セット** を押す。
・「月」の入力画面になります。
- 以下、左記「■登録のしかた（基本モード）」の手順 5～6 と同じ操作をします。

■修正するには

手順 1 から登録をやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア** を押す。

■1 ステップの登録を削除するには

- 矢印** を押して削除したいステップを選ぶ。
- クリア**、**クリア**、**セット** の順に押す。

ワンポイント

- 応答を停止するときには、「0」を入力します。その臨時は、【停】と表示されます。
 - 基本モードでお使いのときは、グループごとに臨時プログラムを登録できます。
 - 臨時は：
 - ・休日および臨時の合計で、50 ステップ分まで登録できます。
 - ・臨時休業など、その日のみに適用します。
- 現在の年月日から 1 年間有効で、その日が過ぎれば消去され、元のプログラムで応答します。
- 期間を指定するときに、年をまたいで指定することはできません。たとえば、12 月 29 日から 1 月 3 日までを指定するときは、
 - ① 12 月 29 日から 12 月 31 日
 - ② 1 月 1 日から 1 月 3 日
 の 2 つに分けて登録します。

送出チャンネルを切り替える

◎ 基本モードでお使いのとき、グループごとに、送出するチャンネルを変更することができます。

◎ 初期登録でも切り替えができますが、より少ない操作手順で切り替えができます。

■切り替えのしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印** を押して、**【1.ch 切替】** を選ぶ。

01年5月30日 (水) 13:25	
1.ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイム登録
3. 再生	6. 初期登録

・ **【1.ch 切替】** が反転表示になります。

2 **セット** を押す。

* チャンネル切替 *	
グループ No :	1 2 3 4 5
前ch No :	1 1 1
後ch No :	2 3 4

・ **セット** を押したとき、初期登録で登録した「ch No」の登録値を表示します。

3 **矢印** を押して、切り替えたいチャンネルを選ぶ。

* チャンネル切替 *	
グループ No :	1 2 3 4 5
前ch No :	1 1 1
後ch No :	2 3 4

4 **10KEY** を押して、「ch No」を入力する。

* チャンネル切替 *	
グループ No :	1 2 3 4 5
前ch No :	1 1 1
後ch No :	2 5 4

4 **セット** を押す。

手順3～4を繰り返して、他のチャンネルを切り替える。

5

切り替えが終わるときは、
6 **終了** を、必要回数押して操作メニュー画面に戻す。

01年5月30日 (水) 13:25	
1.ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	5. タイム登録
3. 再生	6. 初期登録

・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■修正するには

手順1 からやり直す。

■登録値を取り消すには

入力した登録値を取り消したいときは、**クリア** を押し、**セット** を押す。

入力された登録値は、空欄となります。

ワンポイント

- 基本モードだけの機能です。選択／外部音源モードでお使いのときは、この機能はありません。
- 「初期登録をする 4. 送出チャンネルを登録する《→P.17》」でもチャンネル切り替えができます。ここで切り替えたチャンネルは、初期登録での画面にも反映されます。
- 切り替えたチャンネルは、次の着信または次の繰り返してから送出されます。

STOP お願い

- 回線種別がテレドーム回線（TD）またはトーキー音源回線（TK）のグループに対して送出チャンネルを切り替える場合は、「初期登録をする 6. 送出回数を登録する《→P.19》」にてメッセージの送出回数を1～9回で設定してください。0（無制限）で設定している場合は送出チャンネルが切り替わりません。

着信回数を確認する

◎ 現在までの着信回数を、累計と日計に分けて確認することができます。

■確認のしかた（基本モード）

操作メニュー画面のとき、
1 **矢印**を押して、【4. 着信表示】
を選ぶ。

・【4. 着信表示】が反転表示になります。

01年 5月 30日 (水) 13:25	4. 着信表示
1. ch 切替	2. 録音・消去
3. 再生	5. タイム登録
	6. 初期登録

2 **セット**を押す。
矢印を押して、【累計／日計】
を選ぶ。

・**セット**を押したとき、累計／日計の
選択画面になります。

* 着信表示メニュー *
1. 累計
2. 日計

3 **セット**を押す。

・**セット**を押したとき、累計／日計の
着信回数を表示します。

* 累計 *	01年 5月 30日 (水) 13:25
総着信:	123
G1: 52	G2: 35
G4: 15	G5: 21

* 日計 *	01年 5月 30日 (水) 13:25
総着信:	58
G1: 19	G2: 17
G4: 11	G5: 11

4 **終了**を押すと、手順2へ戻り
【累計／日計】を選択できます。

* 着信表示メニュー *
1. 累計
2. 日計

5 確認を終わるときは**終了**を、
必要回数押して操作メニュー画
面に戻す。

・1回押すごとに、前画面に戻ります。

01年 5月 30日 (水) 13:25	1. ch 切替	4. 着信表示
2. 録音・消去	3. 再生	5. タイム登録
		6. 初期登録

■確認のしかた（選択／外部音源モード）

- 操作メニュー画面のとき、**矢印**を押して、【3. 着信表示】
を選ぶ。
- 上記「■確認のしかた（基本モード）」の手順2～5
と同じ操作をする。
手順3での着信回数表示は次のようになります。

* 累計 *	01年 5月 30日 (水) 13:25
総着信:	123

* 日計 *	01年 5月 30日 (水) 13:25
総着信:	123

■着信回数の手動クリアのしかた

- 累計の表示画面で、**クリア**を2秒間押し続ける。
- 「ピッ・ピッ・ピー」という音がして、着信回数がクリ
アされます。
・プリンタが接続されているときは、累計が印刷されます。

ワンポイント

- 日計の手動クリアはできません。
- 日計データは、初期登録で登録したデータ集計時刻に
自動的にクリアされます。

ワンポイント

- 累計は、前回の手動クリアまたは手動印刷からの着信
数です。
- 日計は、初期登録のデータ集計時刻から現在までの着
信数です。
- 累計、日計とも総着信は6桁、グループ別は5桁で
表示します。（「999999」または「99999」の次は「0」
に戻ります。）
- 停電があったときは、1時間ごとの着信回数がクリア
され、実際の着信回数より少なく表示されることがあ
ります。

応答にセットする

◎ 応答にセットすると、登録されたプログラムに従って、回線に応答します。

◎ 応答モードは、マニュアル応答とタイマー応答があります。

モード切替操作でモードを設定したあと、応答にセットします。設定したあとは、モードを変更しない限り、その応答モードで応答します。

1. 応答モードの切替

タイマーランプが、消灯しているときはマニュアルモード、また、点灯または点滅しているときはタイマーモードになっています。

■マニュアルモードからタイマーモードへ切替

操作メニュー画面または応答中に、**タイマー**を押す。

1

- ・ タイマーモードセットの「YES/NO」の選択画面になります。

タイマーモードにセットしますか

YES / NO

矢印を押して、**YES**を選び、**セット**を押す。

2

- ・ 元の画面に戻ります。

タイマーモードにセットしますか

YES / NO

■タイマーモードからマニュアルモードへ切替

操作メニュー画面または応答中に、**タイマー**を押す。

1

- ・ タイマー解除の「YES/NO」の選択画面になります。

タイマーモードを解除しますか

YES / NO

矢印を押して、**YES**を選び、**セット**を押す。

2

- ・ 元の画面に戻ります。

タイマーモードを解除しますか

YES / NO

👉ワンポイント

- 応答解除中のときは：
タイマーランプが点滅し、タイマーモードにセットされたことを表示します。
応答ランプは、消灯のままで、タイマー設定時間がきても回線に応答しません。
応答にセットすると、タイマーモードで応答します。
- 応答中のときは：
タイマーランプが点灯し、マニュアル応答からタイマーモードに切り替わって応答します。
応答ランプは、タイマーの応答時間帯は点灯、応答待機の時間帯は点滅します。
- タイマーモードにセットされると、応答のセット/解除また電源の ON/OFF に関係なく、解除されるまで、タイマーモードで応答します。
- 手順 2 のとき、**NO**を選んだときは、タイマーモードにセットされません。

👉ワンポイント

- 応答解除中のときは：
タイマーランプが消灯し、タイマーモードが解除され、マニュアルモードにセットされたことを表示します。
応答ランプは、消灯のままで、応答にセットすると、マニュアルモードで応答します。
- 応答中のときは：
タイマーランプが消灯し、タイマーモードからマニュアルモードに切り替わって応答します。
応答ランプは、点灯になります。
- マニュアルモードにセットされると、応答のセット/解除また電源の ON/OFF に関係なく、タイマーモードにセットされるまで、マニュアルモードで応答します。
- 手順 2 のとき、**NO**を選んだときは、タイマーモードは解除されません。

2. 応答のセットと解除

■応答のセット

操作メニュー画面のとき、
〔応答〕を押す。

応答をセットしますか
YES / NO

1

・「YES/NO」の選択画面になります。

〔矢印〕を押して、〔YES〕を選び、
〔セット〕を押す。

応答をセットしますか
YES / NO

2

・ 応答ランプが点灯または点滅します。
・ 画面は、着信の累計表示になります。

ワンポイント

- 必要な録音がない、または、送出チャンネルの登録がないときは、「ピッ・ピッ…」という音が聞こえ、その状態を表示し、応答にセットできません。ただし、タイマーモードのときは、プログラム登録がないなど、応答に不都合があっても、応答待機の時間帯として応答セットになります。
- 応答ランプが：
 - ・ 点灯しているときは、回線へ応答します。（タイマーモードで応答停止のグループは、応答しません。）
 - ・ 点滅しているときは、タイマーモードですべてのグループが応答停止の時間帯になっています。

■応答を解除するには

応答中のとき、〔応答〕を押す。

応答を解除しますか
YES / NO

1

・「YES/NO」の選択画面になります。

〔矢印〕を押して、〔YES〕を選び、
〔セット〕を押す。

応答を解除しますか
YES / NO

2

・ 応答セットが解除になり、応答ランプが消灯します。タイマーモードのときは、タイマーランプが点滅になります。
・ 新規着信は中止し、応答中の回線があるときは、「初期登録をする 11. 相手切断検出を登録する《→P.24》」に従って回線開放します。
・ 操作メニュー画面に戻ります。
・ 着信中の回線があるときは、応答ランプが早く点滅します。

応答中の画面表示

応答中は、着信回数・着信状況・送出中チャンネルを次のように表示します。〔矢印〕を押して、画面を切り替えます。

■基本モードのとき

●着信回数表示

- ・ 総着信回数とグループごとの着信回数が表示されます。
- ・ タイマーモードのときは、プログラム登録で応答時間帯のグループが反転表示となります。

* 累計 * 01年 5月30日(水) 13: 25
総着信: 123
G1: 52 G2: 35 G3: 21
G4: 15 G5:

* 累計 * 01年 5月30日(水) 13: 25
総着信: 123
G1: 52 G2: 35 G3: 21
G4: 15 G5:

●着信状況表示

- ・ 着信している回線は、反転表示になります。
- ・ 【-】表示は、回線が使用されていない状態を示します。
- ・ 【※】表示は、回線ボードの実装がない状態を示します。

* 着信状況 1/2 *
回線: 01 02 03 04 -- --
※ ※ ※ ※ ※ ※

* 着信状況 2/2 *
回線: ※ ※ ※ ※ ※ ※

●送出中チャンネル表示

- ・ 送出中の「チャンネル番号」を、グループごとに表示します。

* 送出中チャンネル *
グループ No: 1 2 3 4 5
前ch No: 1 1
後ch No: 2 3

■選択モード／外部音源モードのとき

●着信回数表示

- ・ 総着信回数が表示されます。

* 累計 * 01年 5月30日(水) 13: 25
総着信: 123

●着信状況表示

- ・ 着信している回線は、反転表示になります。
- ・ 【-】表示は、回線が使用されていない状態を示します。
- ・ 【※】表示は、回線ボードがない状態を示します。

* 着信状況 1/2 *
回線: 01 02 03 04 -- --
※ ※ ※ ※ ※ ※

* 着信状況 2/2 *
回線: ※ ※ ※ ※ ※ ※

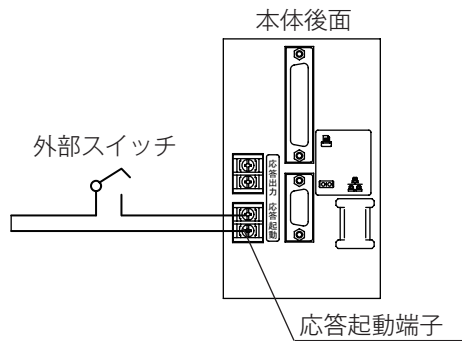
STOP お願い

●トーカー音源回線に接続するとき：

アフターサービスの場合をのぞいて本装置からの音声を止めないようにしてください。プログラムタイマーや前面の〔応答〕ボタンの操作で、本装置が応答できない状態を作らないようにご注意ください。音声が終わるとN T Tの設備が警報状態になります。

3. 外部から応答のセットと解除

本装置後面の応答起動端子へ接続したスイッチ（ロック式）から応答のセット／解除ができます。



■応答にセットするには

- 外部スイッチを「ON」にします。
- ・あらかじめセットしてある応答モードで、応答にセットされます。

■応答を解除するには

- 外部スイッチを「OFF」にします。
- ・応答が解除になります。

ワンポイント

- 外部スイッチで応答にセットしたあと、本装置側で応答解除の操作をすると、解除されます。再度、外部スイッチで応答にセットするには、一度、「OFF」にしてから「ON」にします。
- 本装置側で応答にセットしたあと、外部スイッチで応答を解除するには、外部スイッチを、一度、「ON」にしてから「OFF」にします。

繰り上げ応答ができます

タイマーモードで応答セットしたときは、繰り上げ応答ができます。

繰り上げ応答とは、例えば、午後5時から応答になるように登録されているとき、午後3時に「繰り上げ応答」の操作をすると、その時点から午後5時の内容で応答を開始します。

会社などで業務終了案内でお使いのとき、臨時休業などで早めに応答させたいときにお使いになれます。

■セットのしかた

1. **応答**を、約2秒間、押す。
 2. 「ピッ・ピッ・ピー」という音が聞こえ、次の応答セットの登録内容で応答になります。
- ・ 応答にセットされると、応答ランプは点滅から点灯に変わります。
 - ・ 繰り上げ対象の登録がないときは、【タイマーの繰上げ対象はありません】と表示されます。
 - ・ 繰り上げ応答は、当日のみ有効で、翌日はタイマー登録に従って応答します。

ランプ表示と応答状態の一覧は次のとおりです。

応答ランプ	タイマーランプ	装置の状態
消灯	消灯	マニュアル応答での待機状態です。
点灯	消灯	マニュアル応答の状態です。
速い点滅	消灯	マニュアル応答を解除したとき、まだ応答している回線がある状態です。すべての回線が開放すると待機状態になります。
消灯	点滅	タイマー応答での待機状態です。
点灯	点灯	タイマー応答で、応答時間帯の状態です。
点滅	点灯	タイマー応答で、応答停止時間帯の状態です。
速い点滅	点滅	タイマー応答を解除したとき、まだ応答している回線がある状態です。すべての回線が開放すると待機状態になります。

4. 応答セット中の操作

■基本モードで応答中の場合

1 応答セット中に、**セット**を押す。

・ 操作メニュー画面になります。

2 **矢印**を押して、操作項目を選び、**セット**を押す。

・ 各項目の操作画面になります。
・ 表示例は、【チャンネル切替】の表示です。

3 各メニューの操作をする。

4 操作を終わるときは**終了**を、必要回数押して応答中の画面に戻す。

・ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
・ 表示例は、累計表示です。

ワンポイント

- 応答セット中は、タイマー登録の変更はできません。
- 変更できないメニューは表示しません。

■手順3の各メニューの操作

1. 【1. チャンネル切替】の操作

- 「送出チャンネルを切り替える《→ P.44》」と同じ操作でチャンネルを切り替えることができます。
- 切り替わりは、次の着信または次の繰り返しで、メッセージが切り替わります。

2. 【2. 録音・消去】の操作

- 「メッセージを録音する《→ P.28》」と同じ操作でメッセージを録音／消去することができます。
- 切り替わりは、次の着信または次の繰り返しで、メッセージが切り替わります。

3. 【3. 再生】の操作

- 「メッセージを録音する《→ P.28》」と同じ操作で再生をすることができます。

4. 【4. 着信表示】の操作

- 「着信回数を確認する《→ P.45》」と同じ操作で着信回数を確認することができます。

5. 【6. 初期登録】の操作

- 「初期登録をする《→ P.12》」と同じ操作で初期登録値を変更することができます。
- 初期登録は、応答中でも変更可と応答中は変更不可の項目があります。
 - ・ 【1. 年月日時刻】 ; 変更不可
 - ・ 【2. グループ / 種別】 ; 変更不可
 - ・ 【3. 送出チャンネル】 ; 変更可
 - ・ 【4. 送出方式】 ; 変更可
 - ・ 【5. 送出回数】 ; 変更可
 - ・ 【6. 着信ベル回数】 ; 変更可
 - ・ 【7. 回線保留時間】 ; 変更可
 - ・ 【8. リコン暗証番号】 ; 変更不可
 - ・ 【9. セキュリティ機能】 ; 変更不可
 - ・ 【10. 相手切断検出】 ; 変更可
 - ・ 【11. データ集計時刻】 ; 変更不可
 - ・ 【12. プリント機能】 ; 変更可

■選択／外部音源モードで応答中の場合

1 応答セット中に、**セット**を押す。

01年5月30日(水)13:25

1. 録音・消去 5. 初期登録

2. 再生

3. 着信表示

・ 操作メニュー画面になります。

2 **矢印**を押して、操作項目を選び、**セット**を押す。

* 着信表示メニュー *

1. 累計

2. 日計

・ 各項目の操作画面になります。
・ 表示例は、【3. 着信表示】の表示です。

3 各メニューの操作をする。

4 操作を終わるときは**終了**を、必要回数押して応答中の画面に戻す。

* 累計 * 01年5月30日(水)13:25

総着信: 123

・ 1回押すごとに、前画面に戻ります。
・ 表示例は、累計表示です。

ワンポイント

- 応答セット中は、タイマー登録の変更はできません。
- 変更できないメニューは表示しません。
- 外部音源モードの場合、応答セット中の録音・消去はできません。

■手順3の各メニューの操作

1. 【1. 録音・消去】の操作（選択モードのみ）

- 「メッセージを録音する《→P.28》」と同じ操作でメッセージを録音／消去することができます。
- 切り替わりは、次の着信または次の繰り返しで、メッセージが切り替わります。

2. 【2. 再生】の操作

- 「メッセージを録音する《→P.28》」と同じ操作で再生をすることができます。

3. 【3. 着信表示】の操作

- 「着信回数を確認する《→P.45》」と同じ操作で着信回数を確認することができます。

4. 【5. 初期登録】の操作

- 「初期登録をする《→P.12》」と同じ操作で初期登録値を変更することができます。
- 初期登録は、応答中でも変更可と応答中は変更不可の項目があります。

◆選択モードの場合

- ・ 【1. 年月日時刻】 ; 変更不可
- ・ 【2. 回線種別】 ; 変更不可
- ・ 【3. 送出回数】 ; 変更可
- ・ 【4. 着信ベル回数】 ; 変更可
- ・ 【5. 回線保留時間】 ; 変更可
- ・ 【6. リモコン暗証番号】 ; 変更不可
- ・ 【7. 転写機能】 ; 変更不可
- ・ 【8. 相手切断検出】 ; 変更可
- ・ 【9. データ集計時刻】 ; 変更不可
- ・ 【10. プリンタ機能】 ; 変更可

◆外部音源モードの場合

- ・ 【1. 年月日時刻】 ; 変更不可
- ・ 【2. 回線種別】 ; 変更不可
- ・ 【3. 着信ベル回数】 ; 変更可
- ・ 【4. 回線保留時間】 ; 変更可
- ・ 【5. リモコン暗証番号】 ; 変更不可
- ・ 【6. 転写機能】 ; 変更不可
- ・ 【7. 相手切断検出】 ; 変更可
- ・ 【8. データ集計時刻】 ; 変更不可
- ・ 【9. プリンタ機能】 ; 変更可

リモコン操作をする

1. リモコン操作の前に

■リモコン操作の条件

(1) 回線

- ・リモコン操作ができるのは、回線 1 だけです。(他の回線へ電話をかけてもリモコン操作はできません。)
- ・回線種別は、アナログ一般公衆回線を接続してください。
テレドーム回線やトーキー音源回線は、リモコン操作はできません。

(2) 暗証番号

- ・暗証番号は、あらかじめ「初期登録をする 9. リモコン暗証番号を登録する《→ P.22》」に従って登録してください。
- ・暗証番号を登録していないときは、リモコン操作はできません。

(3) リモコン信号について

- ・リモコン操作には、プッシュ信号を使用します。リモコン操作をするときはプッシュ信号が出せる電話機から本装置に電話をかけてください。

(4) その他

- ・本装置が操作中のときは、暗証番号を受け付けたあと、「ピッ・ピッ……」という音が約 4 秒間聞こえ、電話が切れます。
- ・間違った暗証番号を 11 回ダイヤルすると電話がきます。
- ・暗証番号は、応答後、約 10 秒以内に入力してください。

■リモコン操作の順序

1. 回線 1 へ電話をかけると

- ・応答にセットしてあるときは、「初期登録をする 7. 着信ベル回数を登録する《→ P.20》」で登録してある回数で応答します。
- ・応答にセットしていないときは、75 秒（ベル回数で約 25 回）後に、「ピッ・ピッ……」という信号音で応答します。

2. 回線 1 が応答すると、

- 「初期登録をする 10. セキュリティ機能を登録する《→ P.23》」で、
- ・「使用する」に登録しているときは、「ピッ・ピッ……」という信号音で応答します。
 - ・「使用しない」に登録しているときは、通常のメッセージで応答します。

3. 暗証番号をダイヤルします。

- ・暗証番号を受け付けると、「ピー」という音が聞こえます。

※暗証番号は、[*]に続けて、登録した数字 4 桁をダイヤルしてください。

例えば、登録した数字が [1234] のときは、

[* → 1 → 2 → 3 → 4] とダイヤルします。

※ダイヤルの桁間は、約 1.5 秒以上、開けないでください。

4. 次のリモコン操作ができます。

操作のしかたは、次ページをご覧ください。

- ・メッセージの録音／再生
- ・応答のセットと解除
- ・タイマーのセットと解除
- ・メッセージのチャンネル切替（基本モードだけ）

※リモコン信号は、続けてダイヤルしてください。

ダイヤル間隔が、約 3 秒以上になると、ダイヤルしたリモコン信号が無効になります。

5. 手順 4 のリモコン操作が終わると、約 10 秒間、待機します。

- ・次のリモコン操作が不要のときは、電話を切ります。
- ・他のリモコン操作を、続けて操作するときは、手順 4 へ戻ります。

2. メッセージの録音と再生

■録音のしかた

1. プッシュホンから、リモコン回線（回線 1）へ電話をかける。
※本装置が応答すると、メッセージ（または、信号音）が聞こえます。
2. [*] に続いて暗証番号をダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
3. 録音したいチャンネル番号（ch No.）を、《[*] → [*] → [10 位の ch No.] → [1 位の ch No.]》の順にダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
※ 1 桁のチャンネル番号のときは、10 位のチャンネル番号は、[0] をダイヤルします。
4. 送話口からメッセージを録音する。
5. 終了したら、[#] をダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
6. 続いて、録音するときは、手順 3 ～ 5 を繰り返す。
終わるときは、電話を切る。

■再生のしかた

1. プッシュホンから、リモコン回線（回線 1）へ電話をかける。
※本装置が応答すると、メッセージ（または、信号音）が聞こえます。
2. [*] に続いて暗証番号をダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
3. 再生したいチャンネル番号（ch No.）を、
《[*] → [#] → [10 位の ch No.] → [1 位の ch No.]》の順にダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
※ 1 桁のチャンネル番号のときは、10 位のチャンネル番号は、[0] を押します。
4. 受話口からメッセージが聞こえる。
※再生が終わると、「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
5. 続いて、再生するときは、手順 3 ～ 4 を繰り返す。
終わるときは、電話を切る。

3. 応答のセットと解除

■セットのしかた

1. プッシュホンから、リモコン回線（回線 1）へ電話をかける。
※約 75 秒間（呼び出し回数で約 25 回）呼び続けると、本装置が応答し、「ピッ・ピッ・・・」という信号音が聞こえます。
2. [*] に続いて暗証番号をダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
3. 《[*] → [7] → [1]》の順にダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
4. 電話を切る。

■解除のしかた

1. プッシュホンから、リモコン回線（回線 1）へ電話をかける。
※本装置が応答し、メッセージ（または、信号音）が聞こえます。
2. [*] に続いて暗証番号をダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
3. 《[*] → [7] → [0]》の順にダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
4. 電話を切る。

ワンポイント

- 外部音源モードでお使いのときは、解除中のみ、録音／再生ができます。
- 操作できるチャンネルは次のとおりです。
基本モード：ch1 ～ ch99
選択モード：案内 ch10、情報 ch20 ～ 49、終了 ch90
外部音源モード：案内 ch10

4. タイマーのセットと解除

■セットのしかた

1. プッシュホンから、リモコン回線（回線 1）へ電話をかける。
※メッセージ（または、信号音）が聞こえます。
2. [*] に続いて暗証番号をダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
3. 《[*] → [8] → [1]》の順にダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
4. 電話を切る。

■解除のしかた

1. プッシュホンから、リモコン回線（回線 1）へ電話をかける。
※メッセージ（または、信号音）が聞こえます。
2. [*] に続いて暗証番号をダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
3. 《[*] → [8] → [0]》の順にダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
4. 電話を切る。

ワンポイント

- リモコンで応答セットから解除の操作を行った場合、続けてタイマーのセット／解除の操作はできません。一度、電話を切って、再度、リモコン操作を行ってください。

5. メッセージの切り替え

■切り替えのしかた

1. プッシュホンから、リモコン回線（回線 1）へ電話をかける。
※メッセージ（または、信号音）が聞こえます。
2. [*] に続いて暗証番号をダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
3. 《[*] → [5] → [グループ番号] → [前 ch 10 位 ch No.] → [前 ch 1 位 ch No.] → [後 ch 10 位 ch No.] → [後 ch 1 位 ch No.]》の順にダイヤルする。
※「ピー」という信号音が、約 1 秒間、聞こえます。
4. 続いて、切り替えるときは、手順 3 を繰り返す。
終わるときは、電話を切る。

ワンポイント

- チャンネル切替ができるのは、基本モードでお使いのときだけです。（他のモードのときは、できません。）
- 指定したチャンネルが、未録音のときは、チャンネル切り替えはできません。
- 前 ch または後 ch のどちらか 1 チャンネルにするときは、不要なチャンネルを「00」で切り替えます。
- タイマーで応答中は、タイマー設定値が優先し、切り替えることはできません。（ただし、送出チャンネルの登録は変更されます。）
- リモコン操作中は、画面に【Remote 動作中】と表示され、本装置での操作はできません。

コピーして、外出のときにご利用ください。

リモコン操作早見表

録音	開始	* → * → ch No (2 桁)
	終了	#
再生	開始	* → # → ch No (2 桁)
応答	セット	* → 7 → 1
	解除	* → 7 → 0
タイマー	セット	* → 8 → 1
	解除	* → 8 → 0
チャンネル切替		* → 5 → グループ No (1 桁) → 前 ch No (2 桁) → 後 ch No (2 桁)

データを印刷する

- ◎ プリンタ（市販品）を接続すると、着信回数の集計・登録内容を印刷することができます。
- ◎ プリンタは、セントロニクス社準拠で、「ESC/P」または「PC/PR」の印字方式を備えたプリンタをご使用ください。

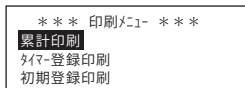
1. 着信データの手動印刷

■ 印刷のしかた

1. プリンタの接続、電源、プリンタ用紙を確認します。
 - ・一度、印刷操作をすると、それ以前のデータは消去され、再出力することはできません。

2. 待機中または応答中に、**印刷**を押す。

- ・印刷メニューの選択画面になります。



3. **矢印**を押して、**【累計印刷】**を選び、**セット**を押す。

- ・前回印刷したときから今回までの着信データが印刷されます。
- ・表示は前の画面に戻ります。

印刷を中止するには

- 開始前のときは、**終了**を押します。
 - ・前の画面に戻ります。



ワンポイント

- 総着信は最大6桁、グループ別・回線別は最大5桁まで表示します。

■ 印刷例

基本モード（グループ分けあり）

```
***** 累計 ***** 2001年 5月30日（水） 13時25分

[ 総着信回数 ]
          215
[ グループ別着信回数 ]
( グループ1 ) 139
    回線 1:  43  回線 2:  39  回線 3:  34  回線 4:  23
( グループ2 )   76
    回線 5:  40  回線 6:  36
[ 総合全話中時間と話中回数 ]
          全話中時間   0時間  0分 12秒          全話中回数          2回
[ グループ別全話中時間と話中回数 ]
( グループ1 )          全話中時間   0時間  0分 12秒          全話中回数          2回
( グループ2 )          全話中時間   0時間  0分 36秒          全話中回数          4回
```

総着信回数：グループ全体の着信回数を表示します。

グループ別着信回数：グループごとの着信回数を表示します。
グループごとの回線別着信回数を表示します。

総合全話中時間と話中回数：

全話中時間；グループ全体で全回線が同時に応答していた累計時間を表示します。

話中回数；グループ全体で全回線が同時に応答していた回数を表示します。

グループ別全話中時間と話中回数：

全話中時間；グループごとの全回線が同時に応答していた累計時間を表示します。

話中回数；グループごとの全回線が同時に応答していた回数を表示します。

基本モード（グループ分けなし）・外部音源モード

***** 累計 ***** 2001年 5月30日（水） 13時25分

[総着信回数]

215

[回線別着信回数]

回線 1: 43 回線 2: 39 回線 3: 34 回線 4: 23 回線 5: 40

回線 6: 36

[全話中時間と話中回数]

全話中時間 0時間 0分 12秒 全話中回数 2回

総着信回数：回線全体の着信回数を表示します。

回線別着信回数：回線ごとの着信回数を表示します。

全話中時間と話中回数：

全話中時間：全回線が同時に応答していた累計時間を表示します。

話中回数：全回線が同時に応答していた回数を表示します。

選択モード

***** 累計 ***** 2001年 5月30日（水） 13時25分

[総着信回数]

215

[回線別着信回数]

回線 1: 43 回線 2: 39 回線 3: 34 回線 4: 23 回線 5: 40

回線 6: 36

[選択ch別集計]

案内メッセージ: 4 終了メッセージ: 2

情報メッセージ

20ch: 5 21ch: 0 22ch: 0 23ch: 0 24ch: 0

25ch: 5 26ch: 0 27ch: 0 28ch: 0 29ch: 0

30ch: 5 31ch: 0 32ch: 0 33ch: 0 34ch: 0

35ch: 5 36ch: 0 37ch: 0 38ch: 0 39ch: 0

40ch: 5 41ch: 0 42ch: 0 43ch: 0 44ch: 0

45ch: 5 46ch: 0 47ch: 0 48ch: 0 49ch: 0

[全話中時間と話中回数]

全話中時間 0時間 0分 12秒 全話中回数 2回

総着信回数：回線全体の着信回数を表示します。

回線別着信回数：回線ごとの着信回数を表示します。

選択ch別集計：チャンネルごとの選択回数を表示します。

全話中時間と話中回数：

全話中時間：全回線が同時に応答していた累計時間を表示します。

話中回数：全回線が同時に応答していた回数を表示します。

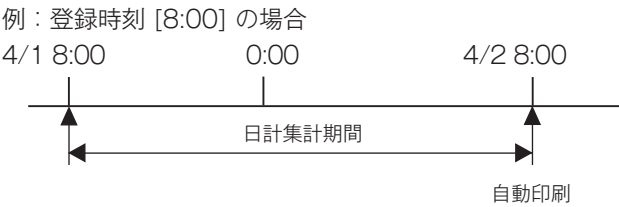
2. 着信データの自動印刷

次のデータが、該当する日時に、自動的に印刷されます。

種 類	内 容	期 間	印刷日時
時間計	1 時間の合計	前の 1 時間 (0 分～ 60 分)	毎時の 00 分
日計	1 日の合計	前日の登録時刻～本日の登録時刻	毎日の登録時刻
週計	1 週間の合計	先週月曜日の登録時刻～今週月曜日の登録時刻	毎週月曜日の登録時刻
月計	1 ヶ月の合計	先月 1 日の登録時刻～今月 1 日の登録時刻	毎月 1 日の登録時刻

ワンポイント

- 印刷するデータは、初期設定で変更できます。初期値は、すべてのデータを印刷する設定になっています。
- プリンタの電源は、必ず、「入」にして、用紙が使用中で無くなるように用紙の残量を定期的にご確認ください。
印刷できなかったときは、そのデータを、再び、印刷することはできません。
- 日計・週計・月計の集計期間は、「初期登録をする 12. データ集計時刻を登録する《→ P.25》」で登録した時刻が区切りとなります。



印刷例

印刷例は、時間計ですが、日計・週計・月計もタイトルおよび集計期間が違うだけで内容は同じです。

基本モード（グループ分けあり）

***** 時間計 ***** 2001年 5月30日（水） 0時 0分					
<23時>					
[総着信回数]					
215					
[グループ別着信回数]					
(グループ 1) 139					
回線 1: 43 回線 2: 39 回線 3: 34 回線 4: 23					
(グループ 2) 76					
回線 5: 40 回線 6: 36					
[総合全話中時間と話中回数]					
全話中時間 0時間 0分 12秒 全話中回数 2回					
[グループ別全話中時間と話中回数]					
(グループ 1) 全話中時間 0時間 0分 12秒 全話中回数 2回					
(グループ 2) 全話中時間 0時間 0分 36秒 全話中回数 4回					

総着信回数：グループ全体の着信回数を表示します。
グループ別着信回数：グループごとの着信回数を表示します。
グループごとの回線別着信回数を表示します。

総合全話中時間と話中回数：
全話中時間；グループ全体で全回線が同時に応答していた累計時間を表示します。
話中回数；グループ全体で全回線が同時に応答していた回数を表示します。

グループ別全話中時間と話中回数：
全話中時間；グループごとの全回線が同時に応答していた累計時間を表示します。
話中回数；グループごとの全回線が同時に応答していた回数を表示します。

基本モード（グループ分けなし）・外部音源モード

```

***** 時間計 ***** 2001年 5月30日（水） 0時 0分
(23時)

[ 総着信回数 ]
      215
[ 回線別着信回数 ]
  回線 1:  43  回線 2:  39  回線 3:  34  回線 4:  23  回線 5:  40
  回線 6:  36
[ 全話中時間と話中回数 ]
      全話中時間      0時間  0分 12秒      全話中回数      2回

```

総着信回数：回線全体の着信回数を表示します。

回線別着信回数：回線ごとの着信回数を表示します。

全話中時間と話中回数：

全話中時間；全回線が同時に応答していた累計時間を表示します。

話中回数；全回線が同時に応答していた回数を表示します。

選択モード

```

***** 時間計 ***** 2001年 5月30日（水） 0時 0分
(23時)

[ 総着信回数 ]
      215
[ 回線別着信回数 ]
  回線 1:  43  回線 2:  39  回線 3:  34  回線 4:  23  回線 5:  40
  回線 6:  36
[ 選択ch別集計 ]
案内メッセージ：  4          終了メッセージ：  2
情報メッセージ
  20ch:  5  21ch:  0  22ch:  0  23ch:  0  24ch:  0
  25ch:  5  26ch:  0  27ch:  0  28ch:  0  29ch:  0
  30ch:  5  31ch:  0  32ch:  0  33ch:  0  34ch:  0
  35ch:  5  36ch:  0  37ch:  0  38ch:  0  39ch:  0
  40ch:  5  41ch:  0  42ch:  0  43ch:  0  44ch:  0
  45ch:  5  46ch:  0  47ch:  0  48ch:  0  49ch:  0
[ 全話中時間と話中回数 ]
      全話中時間      0時間  0分 12秒      全話中回数      2回

```

総着信回数：回線全体の着信回数を表示します。

回線別着信回数：回線ごとの着信回数を表示します。

選択ch別集計：チャンネルごとの選択回数を表示します。

全話中時間と話中回数：

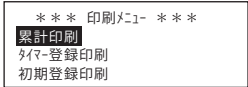
全話中時間；全回線が同時に応答していた累計時間を表示します。

話中回数；全回線が同時に応答していた回数を表示します。

3. タイマーデータの印刷

■ 印刷のしかた

1. プリンタの接続、電源、プリンタ用紙を確認します。
2. 待機中または応答中に、**印刷**を押す。
 - ・印刷メニューの選択画面になります。



3. **矢印**を押して、**【タイマー登録印刷】**を選び、**セット**を押す。
 - ・タイマー登録の内容が印刷されます。
 - ・表示は前の画面に戻ります。

印刷を中止するには

- 開始前のときは、**終了**を押します。
 - ・前の画面に戻ります。

■ 印刷例 (1/2)

基本モード

*** タイマー登録内容 *** 2001 年 5 月 30 日 (水) 13 時 25 分

1 日パターン No 1	行 No 1	切替時刻	0:00	前 ch	1	後 ch	2
	行 No 2	切替時刻	9:00	前 ch	停	後 ch	停
	行 No 3	切替時刻	12:00	前 ch	1	後 ch	3
	行 No 4	切替時刻	13:00	前 ch	停	後 ch	停
	行 No 5	切替時刻	17:30	前 ch	1	後 ch	4
1 日パターン No 2	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 3	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 4	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 5	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 6	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 7	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 8	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 9	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 10	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 11	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 12	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 13	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 14	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	
1 日パターン No 15	行 No	切替時刻	:	前 ch		後 ch	

[グループ 1]

週間プログラム	曜 日	:	日	月	火	水	木	金	土
	P	:	停	1	1	1	1	1	2
変則プログラム	曜 日	:	日	月	火	水	木	金	土
	1 回目	:							5
	2 回目	:							
	3 回目	:							
	4 回目	:							5
	5 回目	:							

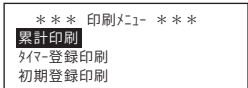
■ 印刷例 (2/2)

祝日プログラム	1月 1日	: 祝日	振休	日祝
	1月 成人の日	: 祝日		
	2月 11日	: 祝日	振休	日祝
	3月 春分の日	: 祝日	振休	日祝
	4月 29日	: 祝日	振休	日祝
	5月 3日	: 祝日	振休	日祝
	5月 4日	: 祝日	振休	日祝
	5月 5日	: 祝日	振休	日祝
	海の日	: 祝日		
	敬老の日	: 祝日		
	秋分の日	: 祝日	振休	日祝
	体育の日	: 祝日		
	11月 3日	: 祝日	振休	日祝
	11月 23日	: 祝日	振休	日祝
	12月 23日	: 祝日	振休	日祝
	1月 日	: 祝日	振休	日祝
	2月 日	: 祝日	振休	日祝
	3月 日	: 祝日	振休	日祝
	4月 日	: 祝日	振休	日祝
	5月 日	: 祝日	振休	日祝
	6月 日	: 祝日	振休	日祝
	7月 日	: 祝日	振休	日祝
	8月 日	: 祝日	振休	日祝
	9月 日	: 祝日	振休	日祝
	10月 日	: 祝日	振休	日祝
	11月 日	: 祝日	振休	日祝
	12月 日	: 祝日	振休	日祝
	1月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	2月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	3月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	4月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	5月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	6月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	7月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	8月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	9月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	10月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	11月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
	12月 回	曜日: 祝日	振休	日祝
休日プログラム	行 No 1	8月 1日 ~ 8月 3日	5	
臨時プログラム	行 No 1	4月 1日 ~ 4月 1日	5	

4. 初期登録の印刷

■ 印刷のしかた

1. プリンタの接続、電源、プリンタ用紙を確認します。
2. 待機中または応答中に、**印刷**を押す。
 - ・印刷メニューの選択画面になります。



3. **矢印**を押して、**【初期登録印刷】**を選び、**セット**を押す。
 - ・初期登録の内容が印刷されます。
 - ・表示は前の画面に戻ります。

印刷を中止するには

- 開始前のときは、**終了**を押します。
 - ・前の画面に戻ります。

■ 印刷例

基本モード

***** 初期登録内容 ***** 2001年 5月30日（水） 13時25分			
グループ種別	〉 回線 1:	グループ 1	ボード種別 [A] 回線種別 [通常]
	〉 回線 2:	グループ 1	ボード種別 [A] 回線種別 [通常]
	〉 回線 3:	グループ 1	ボード種別 [A] 回線種別 [通常]
	〉 回線 4:	グループ 1	ボード種別 [A] 回線種別 [通常]
	〉 回線 5:	グループ 2	ボード種別 [A] 回線種別 [通常]
	〉 回線 6:	グループ 2	ボード種別 [A] 回線種別 [通常]
送出チャンネル	〉 グループ 1	前チャンネル 1, 後チャンネル 2	
	〉 グループ 2	前チャンネル 1, 後チャンネル 3	
	〉 グループ 3	前チャンネル , 後チャンネル	
	〉 グループ 4	前チャンネル , 後チャンネル	
	〉 グループ 5	前チャンネル , 後チャンネル	
送出方式	〉 連結方式		
送出回数	〉 1 回		
着信ベル回数	〉 2 回		
回線保留時間	〉 30 分		
リモコン暗証番号	〉 *1234		
セキュリティ機能	〉 使用しない		
相手切断検出機能	〉 強制切断しない, リバース検出する, B Y T 検出する		
データ集計時刻	〉 0 時		
印字指定	〉 時間計 有, 日計 有, 週計 有, 月計 有		
プリンタ機能	〉 改頁	無	
	〉 改行コード	C R + L F	
	〉 プリンタモード	E S C / P	

選択モード

**** 初期登録内容 **** 2001年 5月30日 (水) 13時25分

回線種別	〉 回線 1: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 2: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 3: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 4: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 5: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 6: ボード種別[A] 回線種別[通常]
送出回数	〉 1 回
着信ベル回数	〉 2 回
回線保留時間	〉 30 分
リモコン暗証番号	〉 *1234
セキュリティ機能	〉 使用しない
相手切断検出機能	〉 強制切断しない, リバース検出する, B Y T 検出する
データ集計時刻	〉 0 時
印字指定	〉 時間計 有, 日計 有, 週計 有, 月計 有
プリンタ機能	〉 改頁 無 〉 改行コード C R + L F 〉 プリンタモード E S C / P

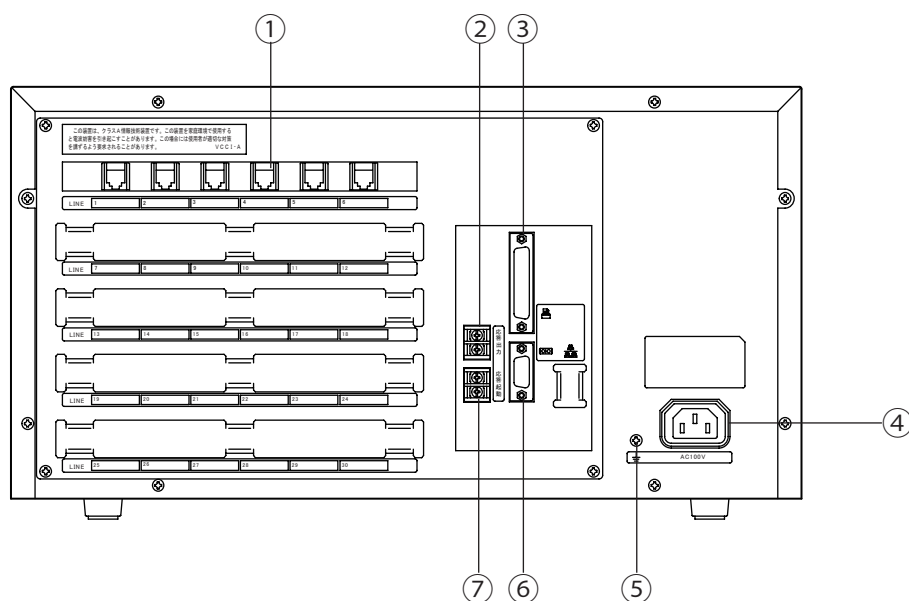
外部音源モード

**** 初期登録内容 **** 2001年 5月30日 (水) 13時25分

回線種別	〉 回線 1: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 2: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 3: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 4: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 5: ボード種別[A] 回線種別[通常] 〉 回線 6: ボード種別[A] 回線種別[通常]
着信ベル回数	〉 2 回
回線保留時間	〉 30 分
リモコン暗証番号	〉 *1234
セキュリティ機能	〉 使用しない
相手切断検出機能	〉 強制切断しない, リバース検出する, B Y T 検出する
データ集計時刻	〉 0 時
印字指定	〉 時間計 有, 日計 有, 週計 有, 月計 有
プリンタ機能	〉 改頁 無 〉 改行コード C R + L F 〉 プリンタモード E S C / P

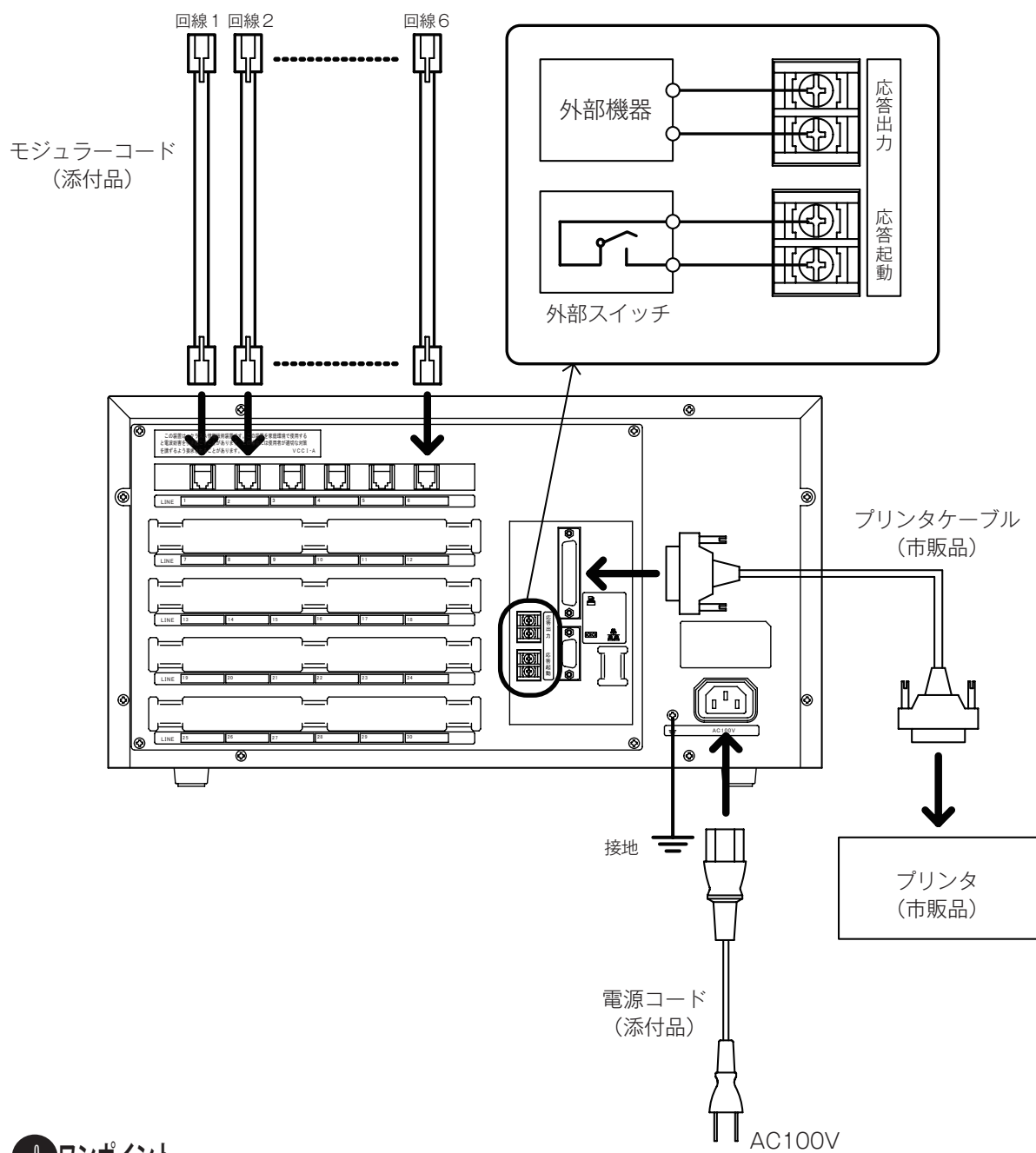
設置工事

1. 後面端子部の名前とはたらき



名 前		機能（はたらき）	仕様／接続条件
①	モジュージャック	回線を接続するモジュージャックです。	6 極 2 芯のモジュージャック
②	応答出力端子	応答セットされると、メーク信号が出力されます。	・ 無電圧メーク接点で出力します。 ・ 接点容量は、「DC30V,500mA」です。 ・ 応答停止になるまで出力します。
③	プリンタ接続コネクタ	プリンタへ接続します。	セントロニクス／ D-SUB25P メス型
④	AC 電源コネクタ	電源ケーブルを接続し、AC 電源を供給するためのコネクタです。	・ 添付の電源コードで、AC100V に接続してください。
⑤	接地端子	回線保護など、安全のための接地端子です。	
⑥	RS-232C 接続コネクタ	パソコンへ接続するコネクタです。保守用で、通常は使用しません。	D-SUB9P オス型
⑦	応答起動端子	外部のスイッチなどから、本装置を応答にセットおよび解除するための端子です。	・ 無電圧メーク接点で入力してください。（端子間をリレー等でショートしてください。） ・ 接点容量は、「DC10V,10mA」以上あること。

2. 各機器との接続のしかた



ワンポイント

- 本装置をラック（市販品）に取り付ける場合は、本装置のメンテナンス作業時間短縮などのため、ご利用になるラックに対応した棚板（市販品）と併用することを推奨します。

設置工事

◎ 本装置と他の機器との接続には、次のことに留意して接続してください。

1. 回線との接続

- ◆ モジュラーコードは添付品をお使いください。

2. 応答出力

- ◆ 本装置が応答にセットされると、セット中は無電圧メーク信号が出力されます。
交換機の夜間切替の信号として、特定の夜間回線へ切り替えて応答したり、また、ランプ等を点灯させて応答セットを確認することができます。
- ◆ 接点容量は、「DC30V,500mA」です。

3. 応答起動

- ◆ 本装置での応答セット以外に、応答起動端子へ接続されたスイッチ（ロック式）で応答にセットすることができます。
操作のくわしいことは、「応答にセットする 3. 外部から応答のセットと解除 《→ P.48》」をご覧ください。
- ◆ 接点容量が「DC10V,10mA」以上のスイッチを接続してください。

4. プリンタ

- ◆ セントロニクス社仕様準拠で、「ESC/P」または「PC/PR」の印字方式を備えたプリンタをご使用ください。
- ◆ 本装置のコネクタは、D-SUB25 ピン・メス型です。

5. 電源の接続

- ◆ 添付の電源コードで、AC100V に接続してください。
- ◆ 本装置には、電源スイッチおよび電源ランプがありません。電源が入力されると、ディスプレイに動作モード設定画面が表示されます。

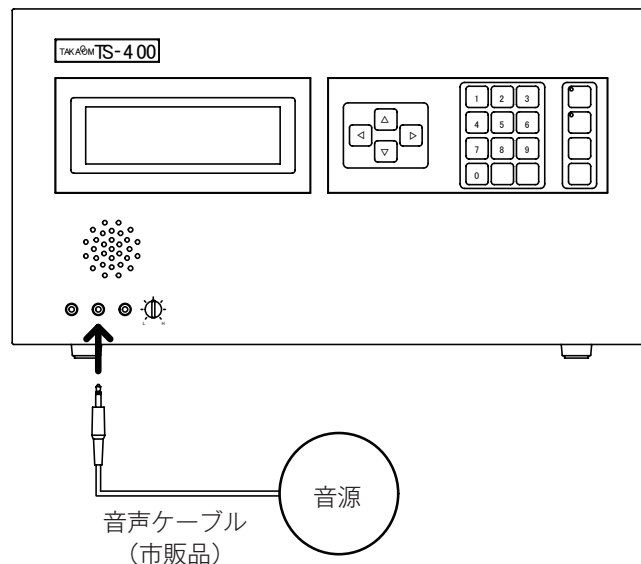
6. 接地

- ◆ 回線保護や安全のため、必ず、接続してください。
- ◆ 絶対に、ガス管には接続しないでください。火災などの原因となります。

外部音源モードでお使いのときは

◎ 実況放送や有線放送などの音源を、本装置前面のテープジャックへ接続します。
本装置への接続は、ミニプラグを使用します。

◎ テープジャックの規格：50k Ω 不平衡、0dBm, ミニジャック（3.5 ϕ プラグ用）



3. 増設のしかた

◎ 6 回線ラインボードおよびフラッシュメモリーボードを増設することができます。

■ 「6 回線ラインボード」の増設のしかた

◎ 6 回線ラインボードは、1 枚のボードに電話回線 6 回線分が収容できます。

◎ お買い上げ時は、6 回線ラインボードが 1 枚（6 回線分）実装されています。6 回線単位で増設できます。

● 増設のしかたは次のとおりです。

1. 後面のネジ 4 本を取り、後フタを外します。（図 1）
2. 6 回線ラインボードを上から順に、ガイドレールに沿って差し込みます。（図 2）
・本体の奥にコネクタがあります。コネクタに完全に挿入してください。
3. 後フタを、4 本のネジで止めます。（図 1）
・増設した回線の閉じフタは外してください。

STOP お願い

- 電源を入れたまま、フタを開けないでください。故障の原因になります。作業の前に必ず電源コードを抜いてください。

図 1

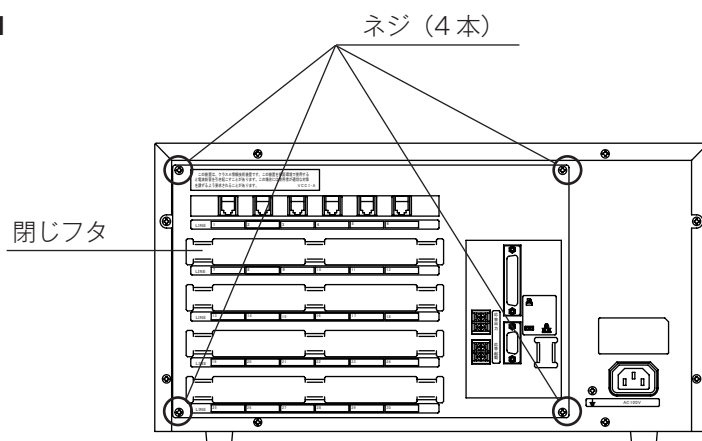
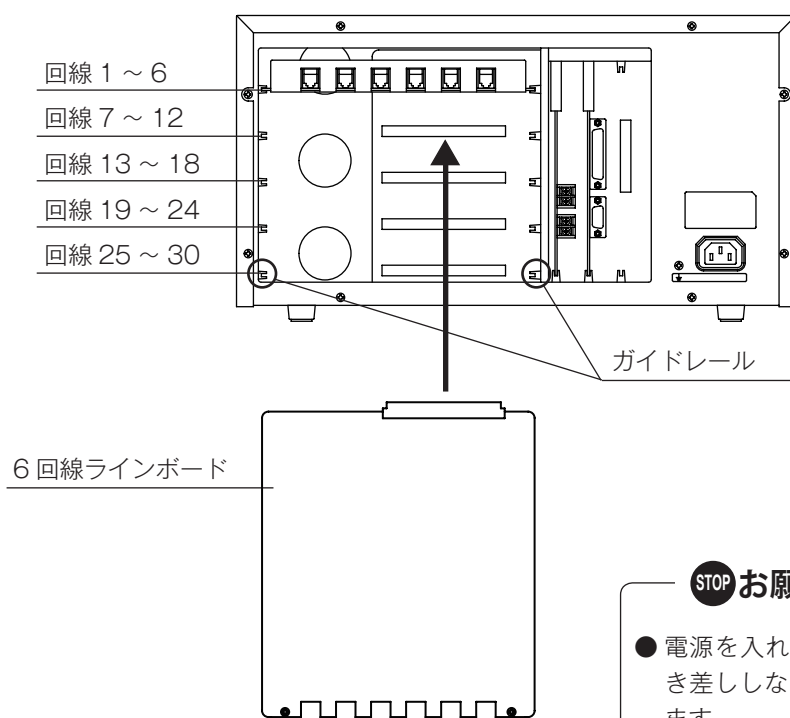


図 2



STOP お願い

- 電源を入れたまま、6 回線ラインボードを抜き差ししないでください。故障の原因になります。

■「フラッシュメモリーボード」の増設のしかた

- ◎ フラッシュメモリーボードの録音容量は一枚あたり 30 分です。
- ◎ お買い上げ時は 1 枚実装されています。もう一枚追加し合計容量を 60 分にすることができます。

● 増設のしかたは次のとおりです。

1. 後面のネジ 4 本を取り、後フタを外します。(図 1)
2. LINE CPU ボードを取り出します。(図 2)
3. LINE CPU ボードへ、増設するフラッシュメモリーボードを差し込みます。(図 3)
 - ・コネクタに完全に挿入してください。
4. LINE CPU ボードを、ガイドレールに沿って、差し込みます。(図 4)
 - ・本体の奥にコネクタがあります。コネクタに完全に挿入してください。
5. 後フタを、4 本のネジで止めます。(図 1)

STOP お願い

- 電源を入れたまま、LINE CPU ボードを抜き差ししないでください。故障の原因になります。

図 1

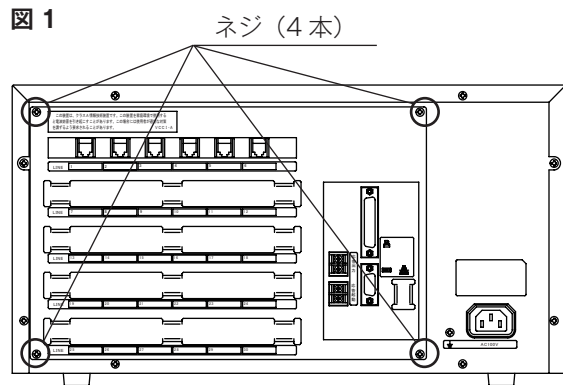
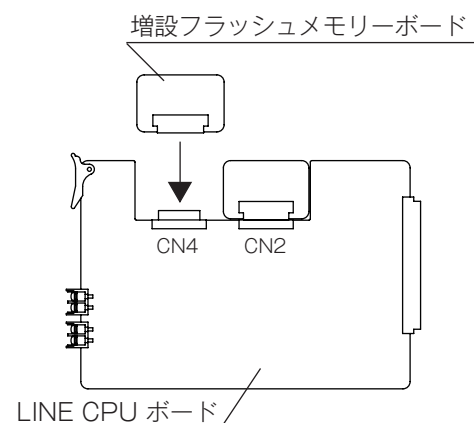


図 3



ワンポイント

- フラッシュメモリーボードを 1 枚だけ実装するときは、CN2 へ実装してください。

図 2

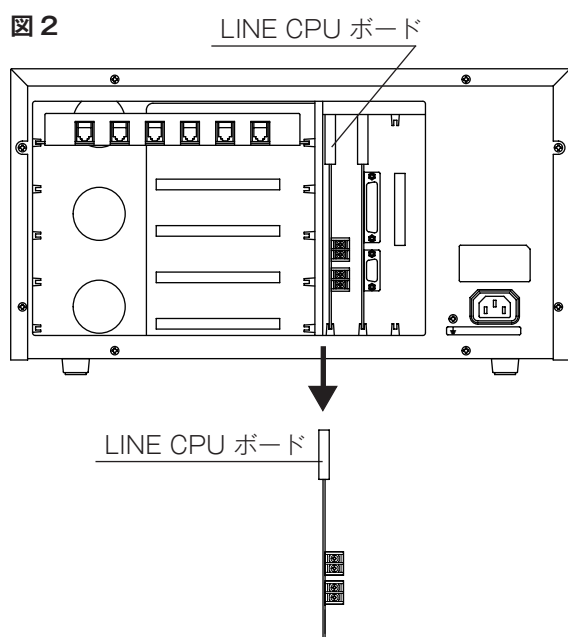
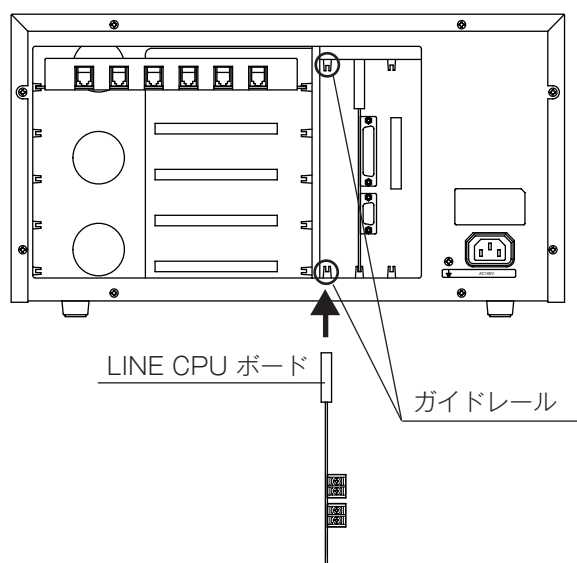


図 4



故障とお考えになる前に

◎ 故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

現 象		点検項目	対策	関連ページ
1	応答のセットができない	【送出 ch が設定されていません】と表示されている。	送出 ch が 1 つも登録されていません。初期登録で登録してください。	P.17 P.44
		基本モード： 【未録音 ch があります】と表示されている。 選択モード： 【案内メッセージが未録音です】と表示されている。 【情報メッセージが未録音です】と表示されている。	送出設定した ch に、録音していない ch があります。録音してください。	P.30 P.32
2	「ピ・ピ・ピ」と音が生じて録音できない	【音源を接続してください】と表示されていませんか？	マイク、外部音源が接続されていません。接続してください。	P.28
		メモリ残が 0 秒になっていませんか？	メモリー一杯に録音されています。これ以上録音できません。不要なメッセージを消去するか、フラッシュメモリボードを追加してください。	P.30 P.33 P.34 P.66
3	応答動作がしない	基本モード： グループ No が「0」に登録されていませんか 選択モード： 外部音源モード： 回線種別設定で「使用しない」に登録されていませんか？	登録を確認してください。	P.15 P.16
4	リモコン操作ができない	リモコン暗証番号が合っていますか？ 暗証番号の前に「＊」をダイヤルしましたか？	登録した暗証番号を確認してください。 「＊」に続いて暗証番号 4 桁をダイヤルしてください。	P.22 P.51
		ダイヤル信号を送信していませんか？	ダイヤル信号ではリモコン操作はできません。プッシュ信号に変換して（※）リモコン操作してください。	P.51
5	タイマー応答で着信動作しない	タイマーモードに切替えていますか？	タイマーモードに切替えてください。	P.46
		応答ランプが点滅になっていませんか？	タイマーの応答停止時間帯であるか、または、プログラムタイマーの登録がされていません。 登録を確認してください。	P.47
6	操作メニューで操作できない項目がある	応答セット中ではありませんか？	応答を解除して待機画面にしてください。	P.11 P.47 P.48
7	送出チャンネルが切り替わらない	送出回数が無制限（0）に設定されていませんか？	送出回数を 1 ～ 9 回で設定してください。	P.19 P.44

※ ダイヤル信号からプッシュ信号への変換については、電話機の取扱説明書を参照してください。

主な仕様

項 目		仕 様	備 考
電話回線	収容回線数	最大 30 回線	
	回線種別	アナログ一般公衆回線 テレドーム回線 トーカー音源回線	ナンバーディスプレイ対応 ※
	回線接続方式	モジュラージャック	6 極 2 芯
	グループ分け	最大 5 グループ	基本モードだけ
	直流抵抗値	約 285 Ω	
ディスプレイ	サイズ	フルドット 240 × 64	バックライト付き LCD
	表示文字	仮名、カタカナ、漢字、英数字、記号	
録音再生	録音媒体	フラッシュメモリーボード	当社オリジナル
	量子化レベル	8bit / 8kHz	
	録音方式	μ-law PCM 方式	
	録音時間	標準 30 分	最大 60 分
音声入力	マイク入力端子	3.3kΩ不平衡、-50dBm	モノラルミニジャック
	テープ入力端子	50kΩ不平衡、0dBm	モノラルミニジャック
再生出力	スピーカ出力	80mW 以下	
	イヤホン端子	20 Ω	
制御出力	応答出力	無電圧メーク出力	接点容量： DC30V,500mA
制御入力	応答起動	無電圧メーク入力、500mS 以上	接点容量：DC10V,10mA
案内メッセージ	基本モード	最大 99ch	
	選択モード	案内用：1ch、情報用：最大 30ch 終了用：1ch	
	外部音源モード	案内用：1ch	
プログラムタイマー	1 日パターン	最大 15 種類	グループ共通
	登録ステップ数	最大 100 ステップ	全パターン共通
	週間プログラム	日曜日～土曜日	
	変則プログラム	1 ～ 5 回目の各曜日	
	祝日プログラム	国民の祝日＋予備 11 日、変動祝日：10 日	春分、秋分自動計算 ハッピーマンデー対応
	休日プログラム	最大 50 ステップ	期間設定可能
	臨時プログラム		
リモコン	リモコン回線	回線番号 1	
	リモコン信号	プッシュ信号	PB 信号
データ集計	集計項目	時間計、日計、週計、月計、累計	着信回数、全話中
	集計区分	回線毎、グループ毎（基本モードだけ）、 全回線、選択チャンネル別（選択モードだけ）	
プリンタ	出力項目	着信回数、初期登録、プログラムタイマ登録	
	インターフェース	セントロニクス社仕様準拠	
	コネクタ	D-SUB25 ピン（メス）	
RS-232C	コネクタ	D-SUB9 ピン（オス）	
内部時計	精度	月差± 5 秒以内	通電時 25℃
環境条件	動作時	温度条件：5 ～ 40℃ 湿度条件：20 ～ 85%	結露のないこと
	保管時	温度条件：-10℃ ～ 50℃ 湿度条件：20 ～ 85%	結露のないこと
VCCI		クラス A	
RoHS 指令		対応	
電源	電源	AC100V ± 10V、50 / 60Hz	
	消費電力	約 30W（最大）	
	停電保証	年月日・時刻は約 10 日	
外観	外形寸法（mm）	430（幅）× 290（奥行）× 230（高さ）	
	質量（kg）	約 12	本体

※ 本装置には、先方の電話番号を表示する機能はありません。ナンバーディスプレイ機能付きの電話機などともにお使いください。

「TS-400 シリーズ」登録表

メッセージ計画表 (基本モード)

() 年用 多回線音声応答装置
サービスホン TS-400

チャンネル 番 号	メッセージ (用途)	録音時間 (秒)
1ch		
2ch		
3ch		
4ch		
5ch		
6ch		
7ch		
8ch		
9ch		
10ch		
11ch		
12ch		
13ch		
14ch		
15ch		
16ch		
17ch		
18ch		
19ch		
20ch		
21ch		
22ch		
23ch		
24ch		
25ch		
26ch		
27ch		
28ch		
29ch		
30ch		
31ch		
32ch		
33ch		
34ch		
35ch		
36ch		
37ch		
38ch		
39ch		
40ch		
41ch		
42ch		
43ch		
44ch		
45ch		
46ch		
47ch		
48ch		
49ch		
50ch		

チャンネル 番 号	メッセージ (用途)	録音時間 (秒)
51ch		
52ch		
53ch		
54ch		
55ch		
56ch		
57ch		
58ch		
59ch		
60ch		
61ch		
62ch		
63ch		
64ch		
65ch		
66ch		
67ch		
68ch		
69ch		
70ch		
71ch		
72ch		
73ch		
74ch		
75ch		
76ch		
77ch		
78ch		
79ch		
80ch		
81ch		
82ch		
83ch		
84ch		
85ch		
86ch		
87ch		
88ch		
89ch		
90ch		
91ch		
92ch		
93ch		
94ch		
95ch		
96ch		
97ch		
98ch		
99ch		

* 録音するメッセージの用途などを整理し、記入してください。

メッセージ計画表 (選択モード)

チャンネル 番 号	メッセージ (用途)	録音時間 (秒)
10ch		
20ch		
21ch		
22ch		
23ch		
24ch		
25ch		
26ch		
27ch		
28ch		
29ch		
30ch		
31ch		
32ch		
33ch		
34ch		
35ch		
36ch		
37ch		
38ch		
39ch		
40ch		
41ch		
42ch		
43ch		
44ch		
45ch		
46ch		
47ch		
48ch		
49ch		
90ch		

メッセージ計画表 (外部音源モード)

チャンネル 番 号	メッセージ (用途)	録音時間 (秒)
10ch		

● 選択モード

- ・ 10ch :
冒頭の案内メッセージを録音します。
- ・ 20ch から 49ch :
電話をかけてきた人を選択してもらうメッセージを録音します。
- ・ 90ch :
情報案内の最後に案内するメッセージを録音します。

● 外部音源モード

- ・ 10ch :
外部音源からの情報の前に案内するメッセージを録音します。
録音しない場合は、最初から外部音源の情報が流れます。

1 日パターン計画

() 年用 多回線音声応答装置
サービスホン TS-400

パターン 番号	用 途	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	備 考
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															

● 記入方法：

自動応答をする時間帯とそのときに流すメッセージを、グラフ化して記入します。最大 15 種類のパターンを作ることができます。

● 記入例：

- パターン1 平日 (月～金) 用
00時00分～ 9時00分-1ch で応答
17時30分～24時00分-2ch+3ch で応答
- パターン2 第1,3,5 土曜日用
00時 00分～ 9時 00分-1ch で応答
12時 00分～ 24時 00分-4ch で応答
- パターン3 第2,4 土曜日用
00時 00分～ 24時 00分-5ch で応答

パターン 番号	用 途	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	備 考
1	平日用 (月～金曜)	00:00						09:00				17:30		24:00	
								1ch						2ch + 3ch	
2	第1,3,5 土曜日用	00:00						09:00						24:00	
								1ch						4ch	
3	第2,4 土曜日用	00:00												24:00	
														5ch	

1 日パターンプログラム表（基本モード）

（ ）年用 多回線音声応答装置
サービスホン TS-400

パターン番号：

* パターンごとにコピーしてご利用ください。

ステップ	切替時刻	前 ch	後 ch	備考	ステップ	切替時刻	前 ch	後 ch	備考	ステップ	切替時刻	前 ch	後 ch	備考
1	:				36	:				71	:			
2	:				37	:				72	:			
3	:				38	:				73	:			
4	:				39	:				74	:			
5	:				40	:				75	:			
6	:				41	:				76	:			
7	:				42	:				77	:			
8	:				43	:				78	:			
9	:				44	:				79	:			
10	:				45	:				80	:			
11	:				46	:				81	:			
12	:				47	:				82	:			
13	:				48	:				83	:			
14	:				49	:				84	:			
15	:				50	:				85	:			
16	:				51	:				86	:			
17	:				52	:				87	:			
18	:				53	:				88	:			
19	:				54	:				89	:			
20	:				55	:				90	:			
21	:				56	:				91	:			
22	:				57	:				92	:			
23	:				58	:				93	:			
24	:				59	:				94	:			
25	:				60	:				95	:			
26	:				61	:				96	:			
27	:				62	:				97	:			
28	:				63	:				98	:			
29	:				64	:				99	:			
30	:				65	:				100	:			
31	:				66	:								
32	:				67	:								
33	:				68	:								
34	:				69	:								
35	:				70	:								

● 記入方法：

「切替時刻」は、全パターン共通で最大 100 ステップまで登録できます。

● 記入例：

パターン番号	用途	時	刻	備考
1	平日用 (月～金曜)	00:00	09:00	1ch
2	第1,3,5 土曜日用	00:00	09:00	1ch
3	第2,4 土曜日用	00:00	09:00	1ch

パターン番号: 1

ステップ	切替時刻	前 ch	後 ch	備考
1	00:00	1	-	
2	09:00	0	-	
3	17:30	2	3	
4	:			

- * 1 日パターンは、「00 時 00 分」から登録します。
- * 終了が 24 時 00 分のときは、指定する必要はありません。
- * 応答を停止するときは、「前 ch」に「0」を登録します。

1 日パターンプログラム表 (選択 / 外部音源モード)

() 年用 多回線音声応答装置
サービスホン TS-400

パターン番号：

* パターンごとにコピーしてご利用ください。

ステップ	切替時刻	応答	備考
1	:	入 切	
2	:		
3	:		
4	:		
5	:		
6	:		
7	:		
8	:		
9	:		
10	:		
11	:		
12	:		
13	:		
14	:		
15	:		
16	:		
17	:		
18	:		
19	:		
20	:		
21	:		
22	:		
23	:		
24	:		
25	:		
26	:		
27	:		
28	:		
29	:		
30	:		
31	:		
32	:		
33	:		
34	:		
35	:		
36	:		
37	:		
38	:		
39	:		
40	:		
41	:		
42	:		
43	:		
44	:		
45	:		
46	:		
47	:		
48	:		
49	:		
50	:		

ステップ	切替時刻	応答	備考
51	:	入 切	
52	:		
53	:		
54	:		
55	:		
56	:		
57	:		
58	:		
59	:		
60	:		
61	:		
62	:		
63	:		
64	:		
65	:		
66	:		
67	:		
68	:		
69	:		
70	:		
71	:		
72	:		
73	:		
74	:		
75	:		
76	:		
77	:		
78	:		
79	:		
80	:		
81	:		
82	:		
83	:		
84	:		
85	:		
86	:		
87	:		
88	:		
89	:		
90	:		
91	:		
92	:		
93	:		
94	:		
95	:		
96	:		
97	:		
98	:		
99	:		
100	:		

● 記入方法

選択モードと外部音源モードのときは、応答の「入・切」をする時刻を記入します。

* 1 日パターンは「00 時 00 分」から登録します。

* 「切替時刻」は全パターン共通で、最大 100 ステップまで登録できます。

グループ名 (番号) _____ ()

*グループごとにコピーしてご利用ください。

() 年用 多回線音声応答装置
サービスホン TS-400

週間プログラム表

曜日	日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
パターン番号							

● 記入方法

1 週間の各曜日に、「1 日パターン計画表」で作成したどのパターンを割り当てるかを決め、記入します。
応答を停止する曜日には、「0」を記入します。登録をすると「停止」と表示します。

● 記入例 -- 基本モードのとき

パターン 番号	用 途	時 刻	備 考
1	平日用 (月～金曜)	00:00 1ch 09:00 停止 17:30 2ch+3ch 24:00	
2	第1,3,5 土曜日用	00:00 1ch 09:00 停止 12:00 4ch 24:00	
3	第2,4 土曜日用	00:00 5ch 24:00	

曜日	日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
パターン番号	4	1	1	1	1	1	2

変則プログラム表

曜日	日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 回目							
2 回目							
3 回目							
4 回目							
5 回目							

● 記入方法

変則的な休日（たとえば毎月の第 2, 4 土曜日など）がある場合、その日にどの「1 日パターン」で運用するかを決め、記入します。

● 記入例

パターン 番号	用 途	時 刻	備 考
1	平日用 (月～金曜)	00:00 1ch 09:00 停止 17:30 2ch+3ch 24:00	
2	第1,3,5 土曜日用	00:00 1ch 09:00 停止 12:00 4ch 24:00	
3	第2,4 土曜日用	00:00 5ch 24:00	

曜日	日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 回目							
2 回目							3
3 回目							
4 回目							3
5 回目							

グループ名 (番号) _____ ()

() 年用 多回線音声応答装置
サービスホン TS-400

* グループごとにコピーしてご利用ください。

祝日プログラム表

日付	祝日	振休	日祝	備考
1月 1日				元旦
成人の日		※	※	
2月 11日				建国記念の日
春分の日				
4月 29日				昭和の日
5月 3日				憲法記念日
5月 4日				みどりの日
5月 5日				こどもの日
海の日		※	※	
敬老の日		※	※	
秋分の日				
体育の日		※	※	
11月 3日				文化の日
11月 23日				勤労感謝の日
12月 23日				天皇誕生日
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

変動日	祝日	備考
月 回 曜		
月 回 曜		
月 回 曜		
月 回 曜		
月 回 曜		
月 回 曜		
月 回 曜		
月 回 曜		
月 回 曜		

変動祝日追加分：10日

固定祝日追加分：11日

● 記入方法

祝日（年間15日）に、どの「1日パターン」でタイマーを運用するかを決め、記入します。

* 「祝日」欄には、該当の祝日に運用する「1日パターン」を記入します。

* 「振休」欄には、該当の祝日が日曜日の場合、翌日の月曜日（振り替え休日）に運用する「1日パターン」を記入します。

* 「日祝」欄には、該当の祝日が日曜日の場合、その当日の日曜日に本来の祝日パターンとは異なったパターンで運用するとき、その「1日パターン」を記入します。

* 祝日プログラムは、固定の祝日として11日分、また変動の祝日として10日分追加することができます。

* 該当の祝日には応答を停止するときは、「0」を記入します。

* 春分の日と秋分の日、およびハッピーマンデー祝日は、自動的に計算します。

● 記入例

日付	祝日	振休	日祝	備考
1月 1日	7			元旦
成人の日	7	※	※	
2月 11日	7	8	9	建国記念の日

- ・ 1月1日は、曜日にかかわらずパターン7で運用されます。
- ・ 2月11日が月曜日から土曜日のときは、パターン7で運用されます。
- ・ 2月11日が日曜日の場合：
⇒ 翌12日（月）はパターン8で運用されます。
⇒ 11日（日）はパターン9で運用されます。

変動日	祝日	備考
6月 3回 6曜	8	
月 回 曜		

・ 6月の第3土曜日はパターン8で運用されます。

曜日の番号：
1=月、2=火、3=水、4=木、
5=金、6=土、7=日

グループ名 (番号) _____ () () 年用 多回線音声応答装置
サービスホン TS-400

* グループごとにコピーしてご利用ください。

休日プログラム表

ステップ	日 付	パターン番号	備考
1	月 日～ 月 日		
2	月 日～ 月 日		
3	月 日～ 月 日		
4	月 日～ 月 日		
5	月 日～ 月 日		
6	月 日～ 月 日		
7	月 日～ 月 日		
8	月 日～ 月 日		
9	月 日～ 月 日		
10	月 日～ 月 日		
11	月 日～ 月 日		
12	月 日～ 月 日		
13	月 日～ 月 日		
14	月 日～ 月 日		
15	月 日～ 月 日		
16	月 日～ 月 日		
17	月 日～ 月 日		
18	月 日～ 月 日		
19	月 日～ 月 日		
20	月 日～ 月 日		
21	月 日～ 月 日		
22	月 日～ 月 日		
23	月 日～ 月 日		
24	月 日～ 月 日		
25	月 日～ 月 日		
26	月 日～ 月 日		
27	月 日～ 月 日		
28	月 日～ 月 日		
29	月 日～ 月 日		
30	月 日～ 月 日		
31	月 日～ 月 日		
32	月 日～ 月 日		
33	月 日～ 月 日		
34	月 日～ 月 日		
35	月 日～ 月 日		
36	月 日～ 月 日		
37	月 日～ 月 日		
38	月 日～ 月 日		
39	月 日～ 月 日		
40	月 日～ 月 日		
41	月 日～ 月 日		
42	月 日～ 月 日		
43	月 日～ 月 日		
44	月 日～ 月 日		
45	月 日～ 月 日		
46	月 日～ 月 日		
47	月 日～ 月 日		
48	月 日～ 月 日		
49	月 日～ 月 日		
50	月 日～ 月 日		

臨時プログラム表

ステップ	日 付	パターン番号	備考
1	月 日～ 月 日		
2	月 日～ 月 日		
3	月 日～ 月 日		
4	月 日～ 月 日		
5	月 日～ 月 日		
6	月 日～ 月 日		
7	月 日～ 月 日		
8	月 日～ 月 日		
9	月 日～ 月 日		
10	月 日～ 月 日		
11	月 日～ 月 日		
12	月 日～ 月 日		
13	月 日～ 月 日		
14	月 日～ 月 日		
15	月 日～ 月 日		
16	月 日～ 月 日		
17	月 日～ 月 日		
18	月 日～ 月 日		
19	月 日～ 月 日		
20	月 日～ 月 日		
21	月 日～ 月 日		
22	月 日～ 月 日		
23	月 日～ 月 日		
24	月 日～ 月 日		
25	月 日～ 月 日		
26	月 日～ 月 日		
27	月 日～ 月 日		
28	月 日～ 月 日		
29	月 日～ 月 日		
30	月 日～ 月 日		
31	月 日～ 月 日		
32	月 日～ 月 日		
33	月 日～ 月 日		
34	月 日～ 月 日		
35	月 日～ 月 日		
36	月 日～ 月 日		
37	月 日～ 月 日		
38	月 日～ 月 日		
39	月 日～ 月 日		
40	月 日～ 月 日		
41	月 日～ 月 日		
42	月 日～ 月 日		
43	月 日～ 月 日		
44	月 日～ 月 日		
45	月 日～ 月 日		
46	月 日～ 月 日		
47	月 日～ 月 日		
48	月 日～ 月 日		
49	月 日～ 月 日		
50	月 日～ 月 日		

● 記入方法

休日プログラム -- 夏休みや年末年始など、毎年同じ月日の休日に運用するパターンを決めて記入します。
臨時プログラム -- その年だけ特別に運用したい場合、月日とパターンを決めて記入します。登録した日から 1 年間有効です。
* 休日、臨時プログラムは、合計で 50 ステップ登録できます。
* 期間の指定ができますが、12 月 30 日から 1 月 3 日のような年をまたいだ指定はできません。

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発信・通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保 証 書		
型 名	サービスホン TS-400	
保 証 期 間	お買い上げ日より1年間	
お 買 い 上 げ 日	年 月 日	
お 客 様	お 名 前	様
	電 話 番 号	() -
	ご 住 所	〒
販売店名／住所／電話番号		

保証条件

- 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
- 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
 - 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
 - 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
 - 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
 - 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
 - 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
 - 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
 - 消耗品を交換した場合
- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター  **0570-03-8811**

受付時間：月～金 9：00～17：30 <土・日曜日、祝日、当社指定休日除く>

修理に関するご相談

- 製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ <http://www.takacom.co.jp>
「修理のご依頼」をご覧ください。

株式会社タカコム

検索

株式会社 **タカコム**

本社・工場／〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709